

# 社会の友 6年



愛知教育文化振興会  
三河教育研究会

令和7年度版

# 社会の友 6年

## もくじ

### I わたしたちの生活と政治

|                                                                            |   |
|----------------------------------------------------------------------------|---|
| ① わたしたちのくらしと日本国憲法 <sup>けんぽう</sup> .....                                    | 2 |
| ② 国の政治のしくみと選挙.....                                                         | 4 |
| ③ 子育て支援 <sup>しえん</sup> の願いを実現する政治・震災復興 <sup>しんさいふっこう</sup> の願いを実現する政治..... | 6 |

### 3 世界の中の日本

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| ① 日本とつながりの深い国々.....                 | 7 |
| ② 世界の未来と日本の役割 <sup>やくわり</sup> ..... | 8 |

### 2 日本の歴史

|                                                            |    |
|------------------------------------------------------------|----|
| ① 縄文 <sup>じょうもん</sup> のむらから古墳 <sup>こふん</sup> のくにへ.....     | 10 |
| ② 天皇 <sup>てんのう</sup> 中心の国づくり／③ 貴族 <sup>きぞく</sup> のくらし..... | 12 |
| ④ 武士の世の中へ／⑤ 今に伝わる室町 <sup>むろまち</sup> 文化.....                | 14 |
| ⑥ 戦国 <sup>せんごく</sup> の世から天下統一 <sup>てんかとういつ</sup> へ.....    | 16 |
| ⑦ 江戸幕府 <sup>えどばくふ</sup> と政治の安定.....                        | 18 |
| ⑧ 町人 <sup>ちやうにん</sup> の文化と新しい学問.....                       | 20 |
| ⑨ 明治 <sup>めいじ</sup> の国づくりを進めた人々.....                       | 22 |
| ⑩ 世界に歩み出した日本.....                                          | 24 |
| ⑪ 長く続いた戦争と人々のくらし／⑫ 新しい日本，平和な日本へ.....                       | 26 |

|                |    |
|----------------|----|
| 〈日本の歴史年表〉..... | 28 |
|----------------|----|



## 1 わたしたちのくらしと日本国憲法

## 1 わたしたちのくらしと日本国憲法

- (1) 日本国憲法の三つの原則について、①～③の□にあてはまることばを書きましょう。

|       |   |   |                                   |
|-------|---|---|-----------------------------------|
| 三つの原則 | ① | □ | ……政治の主人公は国民                       |
|       | ② | □ | ……生まれながらの権利を大切に <sup>けんり</sup> する |
|       | ③ | □ | ……二度と戦争をしない                       |

- (2) 日本国憲法の公布された日は、現在祝日になっています。何月何日か書きましょう。

- (3) 政治に参加する権利<sup>けんり</sup>のことを何というか書きましょう。

- (4) 日本国憲法の前文(要旨<sup>ようし</sup>)について、次の①～⑤の□にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

日本国民は、選挙で選ばれた国会議員を①□の代表とします。

わたしたちは、世界の国々となかよく②□し合い、国全土にわたって③□がもたらすすばらしさをみなぎらせ、政府の行いによって二度と④□が起こることのないようにすることを決意しました。

そして、わたしたちは、⑤□が国民にあることを宣言<sup>せんげん</sup>して、この憲法をつくりあげました。

国民

主権

自由

協力

戦争

- (5) 日本国憲法では、天皇はどのように定められているか、□にあてはまることばを書きましょう。

日本の国や国民のままとりの



## 用語解説

## 日本国憲法

日本のきまりのなかで最高のもので、国の法律や地方の条例はすべて、日本国憲法をもとにしてつくられています。



NHK for School HP  
「国民主権」



## ヒント!

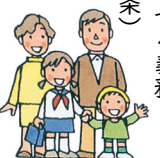
- (4) 教科書P.15の「日本国憲法前文に示された国民主権の宣言(要旨)」を読んで、ことばを当てはめましょう。

## 2 国民の権利と義務

(1) 次の文にあてはまる国民の権利と義務について、下の資料のア～スの記号を選び、[     ]の中に書きましょう。

- ① スーパーで買い物をするときに消費税を納める。 [     ]
- ② 祖母は、退職後に大学に入り勉強をしている。 [     ]
- ③ おうちの人は、会社や工場、お店で働いている。 [     ] [     ]
- ④ 体の不自由なお年寄りが、福祉センターで入浴サービスを受けることができる。 [     ] [     ]

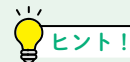
(2) 資料の中から、国民の義務にあてはまるものを見つけて、ア～スの記号に○をつけましょう。

|                                                                                                                             |                                                                                                                                     |                                                                                                                                |                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ア</p>  <p>子どもに教育を受けさせる義務<br/>(第26条)</p> | <p>イ</p>  <p>働く人が団結する権利<br/>(第28条)</p>             | <p>ウ</p>  <p>思想や学問の自由<br/>(第19条、第23条)</p>     | <p>エ</p>  <p>個人の尊重、法の下の平等<br/>(第13条、第14条)</p> |
| <p>オ</p>  <p>仕事について働く義務<br/>(第27条)</p>    | <p>カ</p>  <p>健康で文化的な生活を営む権利<br/>(生存権) (第25条)</p> | <p>キ</p>  <p>仕事について働く権利<br/>(第27条)</p>      | <p>ク</p>  <p>言論や集会の自由<br/>(第21条)</p>        |
| <p>コ</p>  <p>教育を受ける権利<br/>(第26条)</p>     | <p>ケ</p>  <p>税金を納める義務<br/>(第30条)</p>             | <p>ク</p>  <p>政治に参加する権利<br/>(参政権) (第15条)</p> | <p>カ</p>  <p>居住や移転、職業を選ぶ自由<br/>(第22条)</p>   |
| <p>サ</p>  <p>裁判を受ける権利<br/>(第32条)</p>     | <p>シ</p>  <p>政治に参加する権利<br/>(参政権) (第15条)</p>      | <p>ス</p>  <p>政治に参加する権利<br/>(参政権) (第15条)</p> | <p>セ</p>  <p>政治に参加する権利<br/>(参政権) (第15条)</p> |

## 3 暮らしの中の平和主義

非核三原則について、□にあてはまることばをひらがなで書きましょう。

「核兵器を □ □ ない、□ □ □ ない、  
□ □ □ □ □ □ ない」



(1)② だれにでも学ぶ権利があります。



愛知の●●●

### 愛知県人権尊重の社会づくり条例

2022年4月にあらゆる人権に関する課題の解消を図るとともに、全ての人の人権が尊重される社会を目指すためにつくられました。



豆知識

### 原子爆弾 (原爆)

かつて日本は、広島と長崎に原爆を落とされ、多くの犠牲者を出しました。日本は世界でただ一つの被爆国として、非核三原則をかげ、核兵器をなくすことをうたえ続けています。



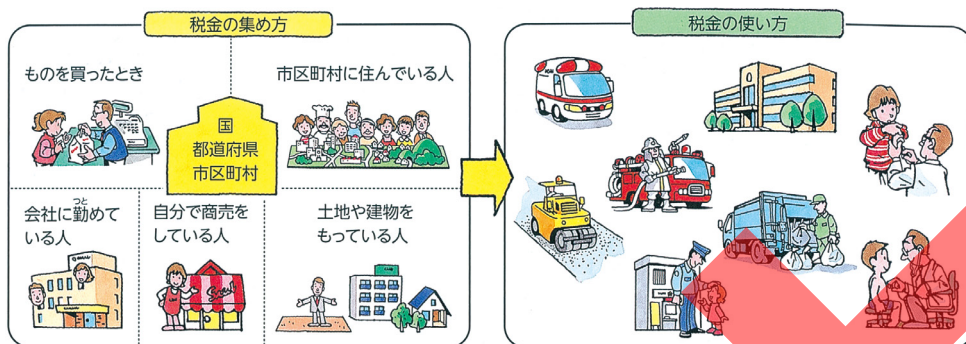
広島市  
「原爆被害の概要」



長崎市被爆継承課  
「キッズ平和ながさき」

## 2 国の政治のしくみと選挙

## 1 選挙のしくみと税金のはたらき



▲税金の集め方と使い方

国税庁  
「税の学習コーナー」

(1) 図を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕税金はものを買ったときにも集められる。
- ②〔 〕税金は市役所でしか集めない。
- ③〔 〕税金は一部の~~人~~だけに使われる。
- ④〔 〕税金は消防、警察などの住民の安全を守ることに使われる。
- ⑤〔 〕税金はごみを処理するために使われる。

(2) 選挙権について、①～③の〔 〕にあてはまることばや数字を書きましょう。

- ① 国会での話し合いは選挙で選ばれた〔 〕が進める。
- ② 選挙で投票することは、〔 〕才以上の国民に認められている。
- ③ 選挙で投票することは国民が政治に参加する大切な〔 〕だ。

(3) 国民の祝日について、〔 〕にあてはまる数字を書きましょう。

- ① 建国記念の日 〔 〕月〔 〕日

(国がつくられた昔を思い、国を愛する心を養う。)

- ② 憲法記念日 〔 〕月〔 〕日

(日本国憲法の施行を記念し、国の成長を願う。)

## 用語解説

## 国民の祝日

国民の祝日に関する法律によって定められた、国民が祝い、感謝する日です。

## 成人の日

1月の第2月曜日

大人になったことを自覚し、自分自身の力で生きていこうとする若者を祝いはげます日です。

## こどもの日

5月5日

子どもの人格を重んじ、子どもの幸福が実現されるよう努力するとともに、母に感謝する日です。

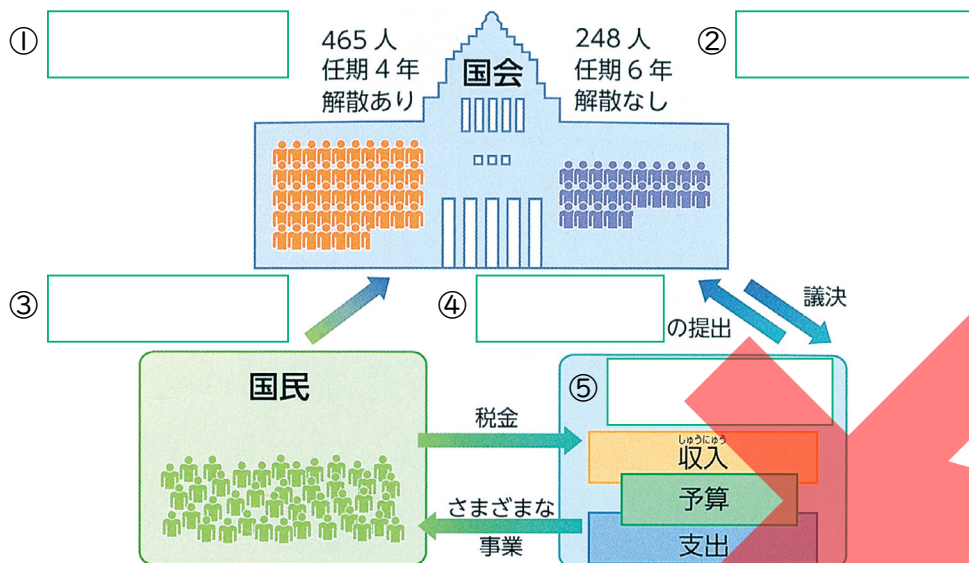
## 勤労感謝の日

11月23日

勤労をたっとうび、生産を祝い、国民がたがいに感謝し合う日です。

## 2 国の政治のしくみ

(1) 下の図の①～⑤にあてはまることばを下の□から選んで書きましよう。



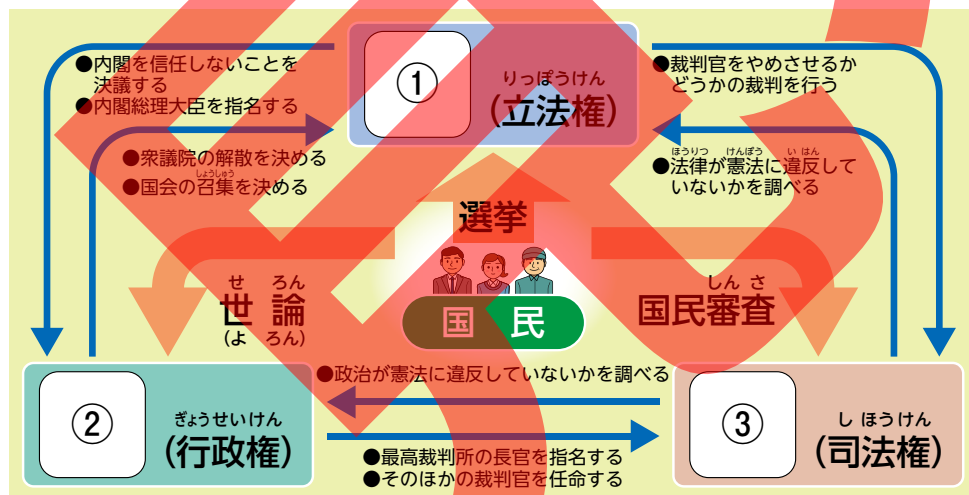
▲国民と国会と内閣の関係〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉

予算 裁判所 衆議院 参議院 内閣 選挙 国民審査

(2) 下の図を見て①～④にあてはまることばを□の中に書きましよう。

①□ ②□ ③□

①～③のような役割を分担するしくみを④□ という。



(3) 裁判員制度の目的を書きましよう。

(4) 裁判では、同じ事件について3回まで裁判を受けることができます。その理由を書きましよう。



参議院キッズページ  
「国会のひみつをさぐろう!」

用語解説  
さいばん  
裁判員制度

国民が裁判員として裁判に参加する制度です。裁判員は、選挙権をもっている人の中からくじで選ばれ、刑罰が重い犯罪の裁判に裁判官とともに加わります。そして、うったえられた人が有罪か無罪か、有罪の場合は、どのくらいの刑にするのかを判断します。



法務省 きつずる一む  
「裁判員制度ってなに?」



NHK for School HP  
「三権の役割」



ヒント!

(3) 国民が裁判に参加することでのどのようなよいことがあるのでしょうか。

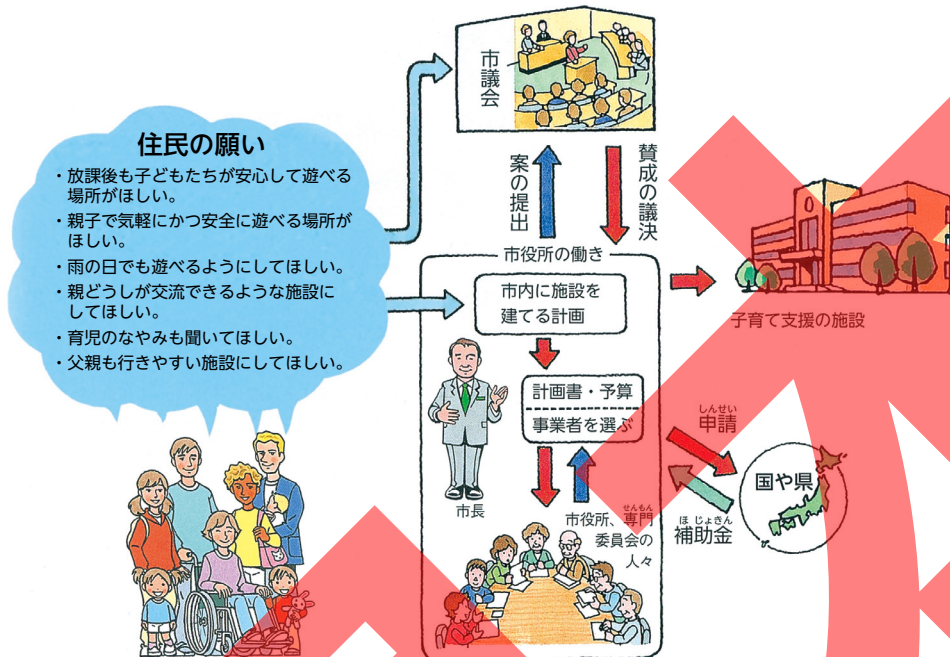


### 3 子育て支援の願いを実現する政治・震災復興の願いを実現する政治

★学習した方を選んで問題に答えましょう。

#### 1 子育て支援の願い

子育て支援施設が建設されるまでの市や市議会の働きについて、下の図を見ながら①～③の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

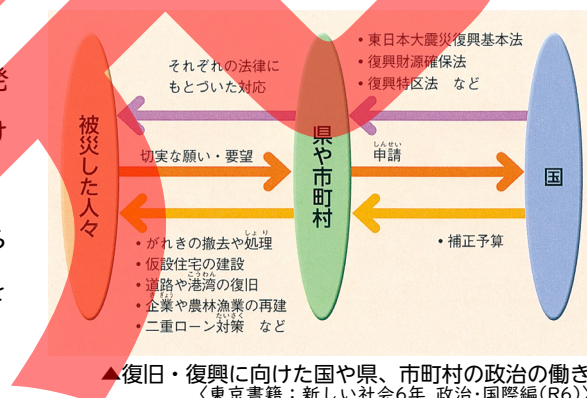


▲子育て支援の施設の建設に向けた市役所の働き

地域の公共施設は、〔①〕の願いをもとに市が計画を立てる。そして、〔②〕で話し合われ、建設が決定し、予算がつく。また、その建設の一部を〔③〕が補助する。

#### 2 震災復興の願い

右の資料を見て、災害が発生した時の復旧・復興に向けた政治の取り組みについて、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に入らしてください。



▲復旧・復興に向けた国や県、市町村の政治の働き  
〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉

- ①〔 〕被災した人々の切実な願いや要望から、国は復興に必要な法律を制定する。
- ②〔 〕被災した人々のみで、がれきの撤去など復興に向けて整備を行う。
- ③〔 〕県や市町村と国が協力して、被災した人々を助けるしくみができた。



愛知の

#### はぐみんカード

子育て家庭に配付される「子育て家庭優待カード」です。愛知県内の協力店舗・施設で提示すると、お店が設定した商品の割引やサービスを受けることができます。



あいち はぐみんネット  
「はぐみんカードの利用方法」



NHK for School HP  
「災害復旧と復興」

## 1 日本とつながりの深い国々

## 1 日本と関係の深い国

(1) 下の  の国々を、決められた色でぬりましょう。

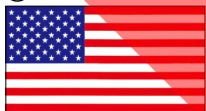
アメリカ合衆国……赤色 ● フランス……黄色 ●  
 中華人民共和国(中国)……水色 ● ブラジル……緑色 ●

NHK for School HP  
「世界の国の人々」

(2) 下の①～④の国旗の国名と首都名を〔 〕に書きましょう。

また、その国について紹介した文を線で結びましょう。

①



②



③



④



国名

〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕

首都名

〔 〕〔 〕〔 〕〔 〕

キッズ外務省  
「世界の学校を見てみよう」株式会社 明治  
「比べてみよう!世界の食と文化」

愛知の●●●

## 市町村の友好(姉妹)都市

新城市ーニューキャッスル(アメリカ)  
 西尾市ーポリルア(ニュージーランド)  
 豊川市ーキューパティーノ(アメリカ)  
 安城市ーボブソンズベイ(オーストラリア)

小麦や大麦、  
バターやチーズ、  
ワインの輸出が多  
い。サッカーが有名。  
日本から移住した  
人も多い。世界2  
位の長さのアマゾ  
ン川がある。多くの輸出品があ  
る。さまざまな国  
から来た人やその  
子孫、先住民など  
がいっしょにくら  
している。IT特区とよばれ  
る地区がある。日  
本にお茶や漢字な  
どたくさんものを  
伝えた。

## 2 世界の未来と日本の役割

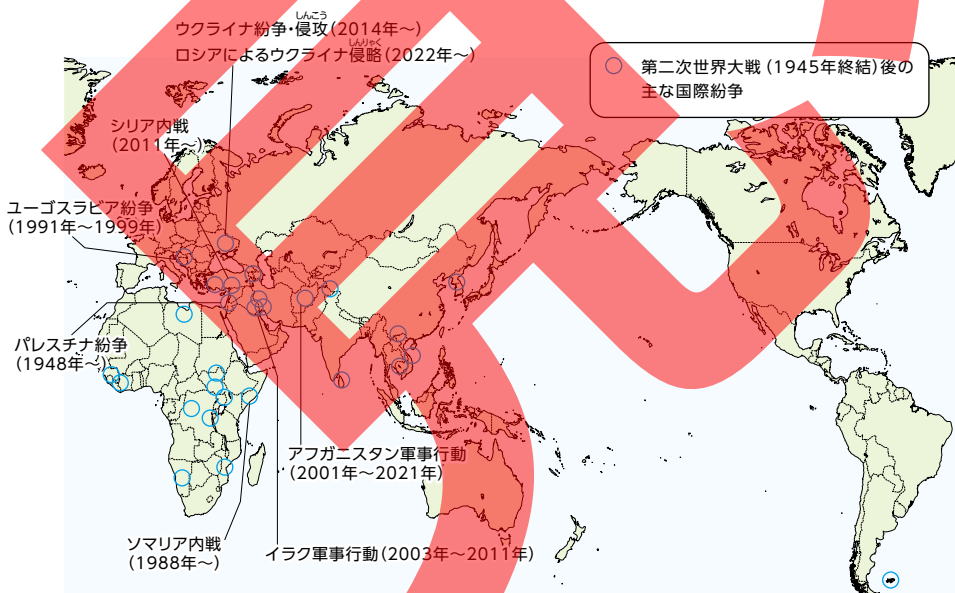
### 1 世界のさまざまな課題と取り組み

(1) 国際連合（国連）について、次のそれぞれの文章にあてはまる機関の名前を書きましょう。

- ① 教育、科学、文化を通じて、平和な社会をつくることを目的としている。世界文化遺産の修復活動などを行っている。

- ② 戦争や食料不足による飢えなど、厳しい暮らしをしている地域の子どもたちを助ける目的でつくられた。最近では、東日本大震災で被災した子どもたちへの支援を行った。

(2) 国際紛争の地図を見て、紛争が起きた地域や時期について気づいたことや考えたことを書きましょう。



NHK for School HP  
「世界の人々とともに生きる」



#### 持続可能な開発目標(SDGs)

「だれひとり取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて、17の目標（ゴール）と、それらを達成するための、169の具体的な取り組みが設定されました。



日本ユニセフ協会  
「SDGs CLUB」



#### 紛争

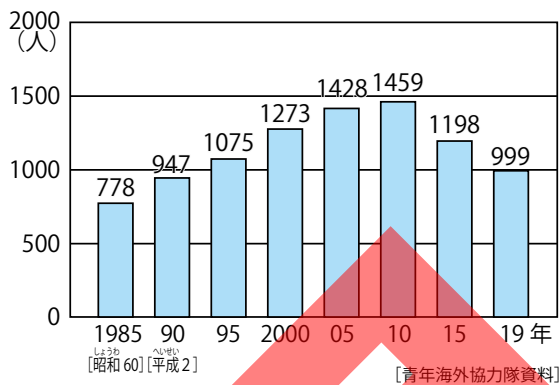
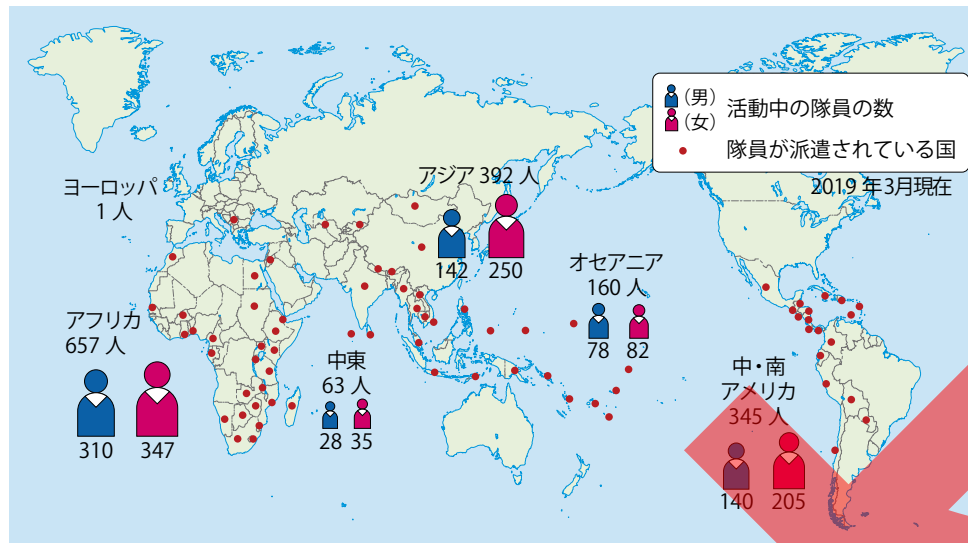
政治的・経済的な理由や民族、宗教などの問題から、国家や勢力が対立して争っている状態をいいます。武力を用いることも多くあります。紛争が原因で住む場所をはなれたり追いやられたりした、難民とよばれる人々が多くいます。



(2) どのあたりで紛争が起きているか注目しましょう。



- (3) 青年海外協力隊について、下の資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。



▲青年海外協力隊の派遣国  
〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉

◀派遣された人たちの人数

- ①〔 〕青年海外協力隊に派遣された人の数は1990年から2010年にかけて、年々減っている。
- ②〔 〕青年海外協力隊が派遣される国は、南半球が多い。
- ③〔 〕派遣された地域で2番目に多いのは中・南アメリカである。

- (4) 国際協力や国際交流について、①～④の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

〔① 〕(政府開発援助)は、政府による〔② 〕の活動である。社会環境が十分に整備されていない国に対し、資金や技術を提供している。〔③ 〕は、日本の〔① 〕の活動の一部で、教育や医療などの分野で自分の知識や技術を生かしたいという意欲をもった人たちが世界で活やくしている。

また、政府や国連から独立して活動している民間の団体を〔④ 〕という。日本にも世界で活やくする多くの団体がある。これからは、〔① 〕と〔④ 〕がそれぞれよい点を生かして〔② 〕を進めていくことが期待されている。



NHK for School HP  
「世界の国々と日本の国際協力」

#### 用語解説

オーディーエー えんじょ  
**ODA (政府開発援助)**  
かいはつ と じょうこく  
開発途上国の経済や社会の発展、国民の福祉向上や生活の安定に協力するために行われる政府または政府実施機関が提供する資金や技術協力のことです。

#### 用語解説

#### 国際協力

十分な社会環境が整備されていない国に対し、産業や生活のための援助を日本などの先進国とよばれる国が行っています。また、政府の活動とは別に、支援が必要と思われる国へ行き、現地の助けとなる活動をする人々もいます。

#### 用語解説

エヌジャーオー ひせいふ そしき  
**NGO (非政府組織)**  
えいり  
市民が主体となり、営利を目的とせずに、海外の課題を解決し、よりよい社会をつくる活動を行う団体のことです。

## 1 縄文のむらから古墳のくにへ

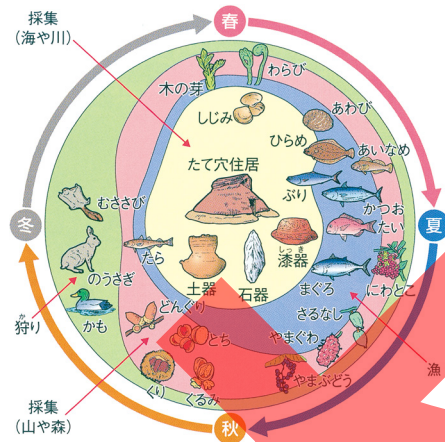
## 1 大昔のむらのくらし

(1) 右の縄文時代に関わる資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕貝や木の実を集めたり、動物や魚をとったりして生活した。
- ②〔 〕冬は、動物より魚を食べることが多い。

③〔 〕石器を使い、たて穴住居に住んでいた。

(2) 人々が食べ物をにたり、たくわえたりするために、右の写真のような器を使いました。この器を何といいますか。〔 〕



▲縄文時代の人々の1年の生活  
〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉



## 用語解説

## 貝塚

縄文時代の人々は、食料として食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所を決めていました。そのため、むらがあった場所の近くの地層からは、貝がらや動物の骨、土器のかけらなどが発掘されます。

## 愛知の

## 愛知県の貝塚の一部

かれきのみや にしお  
枯木宮貝塚 (西尾市)  
おおくるわ なごや  
大曲輪貝塚 (名古屋市中区)  
こまば とよた  
駒場貝塚 (豊田市)  
よしご たはら  
吉胡貝塚 (田原市)  
ほりうち あんじょう  
堀内貝塚 (安城市) など  
愛知県もたくさん地域から貝塚が発掘されています。

## 2 米作りの広がりによるむらの変化

(1) 弥生時代について、〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

- ① 西日本を中心に〔 〕づくりが広がり、保存することが可能な食料として、人々の生活の安定に役立った。
- ② おらとおらの間で、食料や種もみ、〔 〕などをめぐって、争いが起こるようになった。
- ③ 争いにそなえて、おらの周りを〔 〕や堀で囲った。
- ④ おらの指導者は、強い力をもっておらを支配する〔 〕になった。

さく はにわ 豪族 金 田や用水 米

(2) 弥生時代には、下のような文が残されています。〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

倭(日本)の国の王は、もともとは男性が務めた。従えていたくにぐにが争いを起こし、戦いが続いたので、相談して、①という女性を王に立てた。①は、②という国を治めていた。



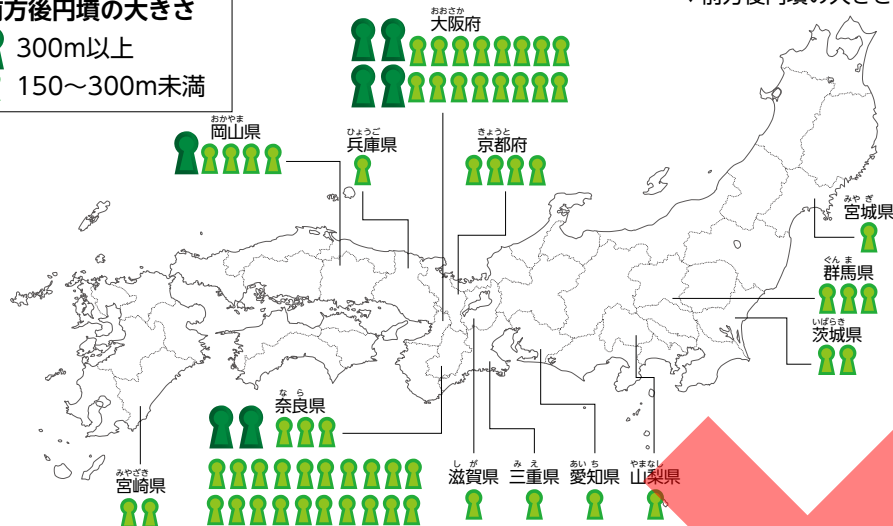
NHK for School HP  
「縄文時代と弥生時代」

### 3 巨大古墳と豪族

ぜんぽうこうえんふん  
前方後円墳の大きさ

300m以上  
150～300m未満

▼前方後円墳の大きさと数



(1) 上の資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を

〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕大阪府は150m以上の前方後円墳の数が全国で一番多い。
- ②〔 〕愛知県には300m以上の巨大な前方後円墳は存在しない。
- ③〔 〕特に、近畿地方に、150m以上の前方後円墳が集まっている。

(2) ①～⑧の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

この時代の近畿地方には、力の大きな〔①〕たちが早くから現れ、それぞれのくにを治めていた。その中で、大和地方に、より大きな力をもつくにが現れた。このくにの中心になった王を、〔②〕といい、このくにの政府を〔③〕とよぶ。この政府は、5～6世紀ごろには、〔④〕地方から東北地方南部までの豪族や王たちを従えた。このころ中国や朝鮮半島から、漢字や〔⑤〕などの新しい文化が伝わった。また、〔⑥〕世紀ごろには、〔⑦〕や〔⑧〕といった書物が天皇の命令でつくられた。

|    |            |   |       |     |        |     |
|----|------------|---|-------|-----|--------|-----|
| 九州 | 邪馬台国       | 8 | 関東    | 貴族  | 大王(天皇) | 古事記 |
| 仏教 | 大和朝廷(大和政権) |   | 豪族(王) | 5～6 | 日本書紀   |     |

(3) 渡来人について〔 〕にあてはまることばを書きましょう。また、渡来人が伝えた技術を書きましょう。

渡来人…〔 〕と読む。〔 〕や〔 〕から日本列島へわたってきて住みついた人である。  
渡来人が伝えた技術…

#### 用語解説

##### 古墳

3～7世紀ごろに各地で勢力を広げ、くにをつくりあげた王や豪族の墓のこと。古墳から当時のすぐれた土木技術がわかるとともに、その大きさや副葬品などから、古墳にほうむられた人物の力の大きさが想像されます。

##### 愛知の●●●

##### 愛知県の古墳(前方後円墳)

あおつか いぬやま  
青塚古墳(犬山市)  
だんぶさん  
断夫山古墳(名古屋市)  
しらとりづか  
白鳥塚古墳(名古屋市)

など



NHK for School HP  
「大仙古墳」

##### ヒント!

(2) ⑥⑦⑧の問題は、教科書P.21「神話に書かれた国の成り立ち」を読んで答えましょう。

## 2 天皇中心の国づくり / 3 貴族のくらし

### 1 聖徳太子の国づくり

- (1) 役人の位を12段階に分けて、家柄いえがらに関係なく能力や功績こうせきで役人を取り立てるしくみを何とといいますか。 [ ]
- (2) 政治を行う役人の心構えを示したものを何とといいますか。 [ ]
- (3) 聖徳太子が建てた、現存する世界最古の木造建築げんそんを何とといいますか。 [ ]

### 2 大化の改新と天皇の力の広がり

- (1) 中臣鎌足なかつみのかまたりとともに大化の改新を行った人物の名前を書きましょう。 [ ]
- (2) 天皇から政治に参加できるなどの特権をあたえられ、力の強かった豪族ごうぞくを何とといいますか。 [ ]
- (3) 8世紀の初めに定められた国を治めるための法律を何とといいますか。 [ ]

### 3 奈良の大仏づくりと仏教の広がり

- (1) 聖武天皇しょうむについて、①～④の [ ] にあてはまることばを下の [ ] から選んで記号で書きましょう。

聖武天皇は、唐とう(中国)へ使者である [①] を送り、皇帝中心の政治の仕組みや [②] を学ばせた。日本に持ち帰られた文化や品物の一部は、東大寺とうだいじにある [③] の宝物ほうもつからうかがうことができる。

聖武天皇は、日本に正式の仏教を広めるために中国から [④] というすぐれた僧そうを招いた。

ア 正倉院しょうそういん      イ 鑑真がんじん      ウ 遣唐使けんとうし      エ 大陸の文化

- (2) 聖武天皇が、国分寺こくぶんじや大仏を建てることを命じたわけを「仏教」ということばを使って書きましょう。
- .....
- .....
- .....



#### 用語解説

#### 遣隋使

隋(中国)に小野妹子らを送り、政治の仕組みなど大陸文化を積極的に取り入れようとした。



NHK for School HP  
「中大兄皇子と中臣鎌足」



#### 愛知の三河国分尼寺

豊川市には、聖武天皇の命令で作られた国分尼寺が史跡公園として残っており、現在も見学することができます。かつては国分寺もありました。



豊川市HP  
「よみがえる天平の遺産  
三河国分尼寺跡史跡公園」

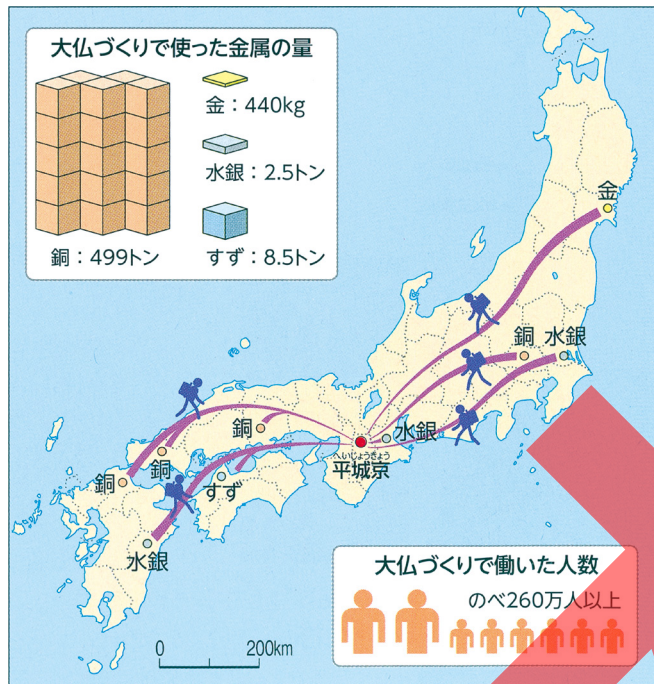


#### ヒント!

(2) 聖武天皇の時代は、全国各地で災害や反乱が起るなど、社会全体に不安が広がっていました。



- (3) 資料からわかることとして、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。



▲全国から集められた人や物資〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

- ①〔 〕大仏づくりで、のべ260万人以上の人々が働いた。
- ②〔 〕大仏づくりでいちばん多く使われた金属は、すずである。
- ③〔 〕働く人や金属は、九州や四国からも集められた。
- ④〔 〕平城京は、現在の京都府にあった。

#### 4 平安時代の文化

- ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

都が平城京から平安京に移された平安時代になると、朝廷の政治の一部を〔①〕が動かすようになった。〔①〕は、〔②〕のやしきでくらし、和歌や蹴鞠などを楽しんだ。平安時代には、漢字からできた〔③〕を使うことで、自分の気持ちなどを細かく表現できるようになり、朝廷に使える女性たちは、多くの文学作品を作った。〔④〕は源氏物語を、清少納言は〔⑤〕を書いた。

ゆうがなぐらしのなかで、〔⑥〕とよばれる貴族の女性の服装も生み出された。このように朝廷を中心にして、美しく、はなやかな〔⑦〕が生まれた。

豪族

寝殿造

武士

大和絵

かな文字

貴族

日本風の文化

中国風の文化

十二単

紫式部

小倉百人一首

枕草子



華嚴宗大本山 東大寺の公式HP  
「東大寺キッズ」



NHK for School HP  
「紫式部・清少納言～国風文化の誕生～」



#### 年中行事

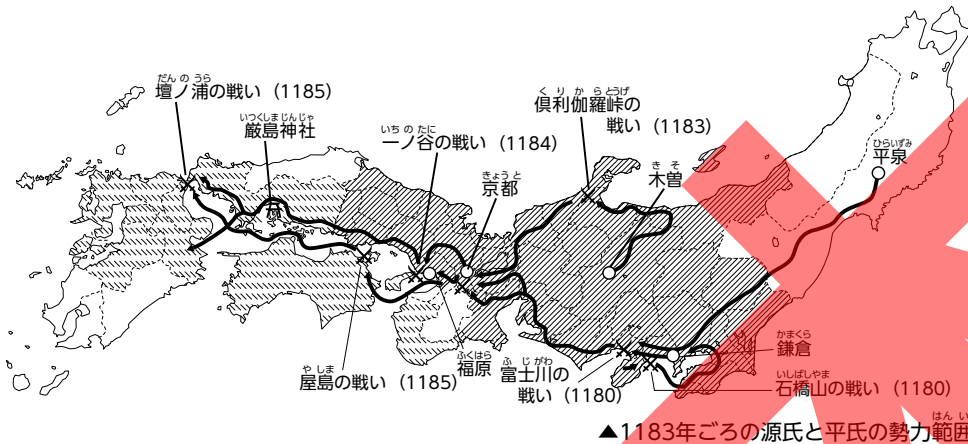
正月の行事や端午の節句、七夕など、平安時代の行事には現在まで続いているものもあります。

# 4 武士の世の中へ／5 今に伝わる室町文化

## 1 武士の世の中の始まり

(1) 源氏の勢力範囲に青色●，平氏の勢力範囲に赤色●をぬりましょう。

源氏…  平氏…  (←は源氏の進路)



兵庫県立歴史博物館  
「絵解き源平合戦図屏風」

(2) 源氏と平氏に関する次の問いに答えましょう。

① 武士としてはじめて太政大臣の地位についた人物はだれですか。

[ ]

② 北条氏や東国（関東地方）の武士とともに，平氏をほろぼそうとしたのはだれですか。

[ ]

③ ②の弟で，一ノ谷の戦いや屋島の戦いに勝ち，平氏をほろぼしたのはだれですか。

[ ]

④ ②の人物が武士のかしらとして朝廷に任じられた役職は何ですか。

[ ]

⑤ ②の人物が幕府を開いた場所はどこですか。

[ ]

(3) 鎌倉時代の「ご恩と奉公」の関係について，[ ]にあてはまることばを書きましょう。

① ご恩……手がらをたてた武士には，新しい[ ]  
をあたえました。

② 奉公……戦いが起こると[ ]  
とかけつけ，幕府のために命をかけて戦いました。



NHK for School HP  
「源頼朝～ご恩と奉公～」



### 用語解説

かまくらぼくふ  
鎌倉幕府

朝廷から認められ，源頼朝が鎌倉に開いた幕府のことで，武士による政治の仕組みをつくりあげました。



### ヒント！



〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

## 2 元の大軍がせめてくる

- (1) 元寇について、①～⑤の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

元という国をつくったモンゴルは、日本を従えようと使者を何回も送ってきた。執権の〔①〕は、この要求を退け、主に〔②〕の武士を集めて、元との戦いに備えた。武士たちは、元軍の集団戦術や〔③〕などに苦しみながら、領地などの恩賞を得るために必死で戦った。そのことを、〔④〕という。元軍を追い返すことができたが、幕府は、活やくした御家人に新しい〔⑤〕をあたえることができなかった。

暴風雨

ほうじょうときむね  
北条時宗

火薬兵器（てつはう）

いっしょけんめい  
一所懸命

きゅうしゅう  
九州

きょうと  
京都

ほうじょうまさこ  
北条政子

領地



NHK for School HP  
「北条時宗～元との戦い～」

- (2) 元寇の後、武士が幕府に不満をもつようになります。そのわけを書きましょう。



ヒント！

(2) 元を追い返すことはできましたが、元の領地をもらうことはできませんでした。

## 3 室町時代の文化

- ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

3代将軍〔①〕は、京都の北山に金閣を建てた。

8代将軍〔②〕は、京都の東山に銀閣を建てた。

銀閣のすぐ近くにある東求堂の部屋のつくりは〔③〕になっている。この部屋は、たたみがしきつめられ、障子やふすまで仕切られており、現在の和室につながっている。

この頃、中国から〔④〕のえがき方が伝えられた。

〔⑤〕は、この絵を芸術として、大成させた。

伝統芸能である〔⑥〕は、足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥の父子によって大成された。

民衆などの生活を題材にして、せりふに日常の会話を用いて演じられる〔⑦〕が民衆の間に広まった。

しよいんづくり  
書院造

ちゃ ゆ  
茶の湯

せっしゅう  
雪舟

きょうげん  
狂言

あしかがよしまさ  
足利義政

しんでんづくり  
寝殿造

すいぼく が  
すみ絵（水墨画）

あしかがよしみつ  
足利義満

のう  
能

あしかがたかうじ  
足利尊氏

お祭り



愛知の

いなり  
豊川稲荷

日本三大稲荷の一つともいわれる豊川稲荷は、室町時代に建てられました。



豆知識

うどん、とうふ、納豆などが人々の間に広まり、しょうゆやさとうも使われるようになりました。



京都国立博物館  
「雪舟、涙で鼠を描く」

## 6 戦国の世から天下統一へ

## 1 戦国大名の登場

①～⑥の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

〔① 〕がおとろえると、〔② 〕とよばれる各地の武将が、自分の支配する土地を守るための〔③ 〕をつくり、勢力を争う戦国の世となった。戦いは各地で繰り広げられ、こうした時代は15世紀の半ばから、〔④ 〕年ほどにわたって続いた。その後、〔⑤ 〕に向けて大きな力を発揮したのは、〔⑥ 〕に勝利した織田信長と、そのあとをついだ豊臣秀吉であった。

| 国   | 鉄砲  | 安土城  | 城    | 長篠の戦い(※) |
|-----|-----|------|------|----------|
| 100 | 200 | 天下統一 | 室町幕府 | 戦国大名     |

(※ 長篠の戦いは、現在は「長篠・設楽原の戦い」ともよばれている。)



NHK for School HP  
「戦国大名」

## 2 ヨーロッパ人の来航

(1) キリスト教の広がりについて①～⑤の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

戦国大名が日本の各地で戦っていたころ、ヨーロッパ人がアジアに進出していた。日本にもスペインや〔① 〕といった国から〔② 〕や貿易船がやってきて、ヨーロッパの進んだ文化や品物をもたらした。〔③ 〕は、日本に〔④ 〕が伝わった数年後に鹿児島に来て、西日本をまわりながら〔⑤ 〕の教えを広めた。〔⑤ 〕を信じる戦国大名も現れた。

| キリスト教 | 仏教   | 中国          | フランス | ポルトガル | イタリア |
|-------|------|-------------|------|-------|------|
| 宣教師   | 戦国大名 | フランシスコ・ザビエル | 鉄砲   | 絹織物   |      |



NHK for School HP  
「鉄砲伝来」



豆知識

西洋風のパンは、1543年種子島に漂着したポルトガル人によって、鉄砲とともに日本へやってきました。

(2) 南蛮貿易で東南アジアからもたらされたものに○を、日本から輸出されていたものに△を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕鉄砲      ②〔 〕金や銀      ③〔 〕漆器などの工芸品  
④〔 〕火薬      ⑤〔 〕生糸や絹織物



ヤマザキHP  
「鉄砲とともに日本へやってきたパン」



### 3 織田信長

①～⑨の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

織田信長は、尾張（愛知県）に生まれ、27才のときに駿河（静岡県）の今川氏の大軍を〔①〕で破って、全国にその名を知られるようになった。〔②〕では、武田氏の騎馬隊にそなえて、木のさく（馬防柵）を作ったり、大量の〔③〕を使ったりして勝利した。〔③〕をそろえるための資金は、〔④〕などの商業都市を支配することで手に入れた。また、將軍の足利氏を京都から追放して〔⑤〕をほろぼした。京都に近い安土（滋賀県）に〔⑥〕を築き、天下統一に向けた拠点にした。さらに、仏教勢力を武力で従える一方で、〔⑦〕を保護し、学校や教会を建てることを許した。

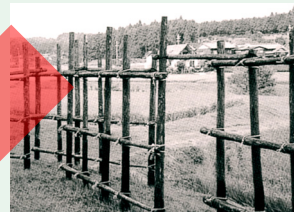
また、〔⑥〕の城下町ではだれでも商売ができ〔⑧〕、市場の税や関所をなくすなど、これまでのしくみを大きく改めて商業や工業をさかんにした。

しかし、信長は天下統一の途中、京都の〔⑨〕で、家来の明智光秀におそわれて自害した。

長篠の戦い 鉄砲 安土城 楽市・楽座 桶狭間の戦い  
堺（大阪府） 本能寺 キリスト教 仏教 室町幕府

### 愛知の●●● 野田城の伝説

現在の<sup>しんしろ</sup>新城市にあった野田城には、城内から聞こえる<sup>さそ</sup>笛の音に誘われた<sup>しんげん</sup>武田信玄が、<sup>ひなわじゅう</sup>火縄銃で狙撃されたという伝説が残っています。



復元された木のさく  
（馬防柵）〈新城市〉



NHK for School HP  
「織田信長～天下統一を目指した武将～」

### 4 豊臣秀吉

①～⑥の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

豊臣秀吉は、尾張（愛知県）の身分の低い武士の子として生まれ、〔①〕に仕えて有力な武将となった。秀吉は〔①〕にそむいた〔②〕をたおし、その後、全国の大名を次々とたおして天下統一をなしとげた。秀吉は、〔③〕を築き、政治の拠点とした。〔④〕を行い、土地の広さやよしあし、耕作している人物などを調べ、収入を確かなものにした。その一方で、〔⑤〕を出し、百姓から刀や鉄砲などの武器を取り上げて反抗できないようにした。

天下統一をなしとげた秀吉は、<sup>ちゅうごく</sup>中国（明）を征服しようと2度にわたって〔⑥〕に大軍を送った。しかし、秀吉が途中で病死し、日本軍は引き上げた。

大阪城 朝鮮 武士 明智光秀 検地 武田信玄  
町人 織田信長 台湾 江戸城 刀狩令

### 豆知識

検地と刀狩が行われたことで、武士と百姓・町人という身分が区別されました。



NHK for School HP  
「豊臣秀吉～武士が支配する世へ～」

## 7 江戸幕府と政治の安定

### 1 徳川家康

①～④の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕から選んで書きましょう。

徳川家康は三河（愛知県）の小さな大名の子として生まれ、周辺の大  
 名であった今川氏や織田氏の人質にされていた。家康は、秀吉の天下統  
 一のもとで、関東の有力な大名となった。秀吉の死後、天下分け目の戦  
 いといわれた〔①〕の戦いで自分に反対する大名たち  
 を破り、全国支配を確かなものにした。1603年、家康は朝廷から  
 〔②〕に任じられ、〔③〕に幕府を  
 開いた。その後、息子の秀忠に将軍をゆずり、1615年、大阪で豊臣氏  
 を滅亡させた。引退後も力を持ち、75歳で病死するまで、  
 〔④〕年以上続く幕府の基礎を固めた。

かんばく

関白

350

きょうと

京都

250

せい たいしやうぐん

征夷大將軍

せき がはら

関ヶ原

おけは ざま

桶狭間

え ど

江戸



愛知の●●

#### 岡崎城

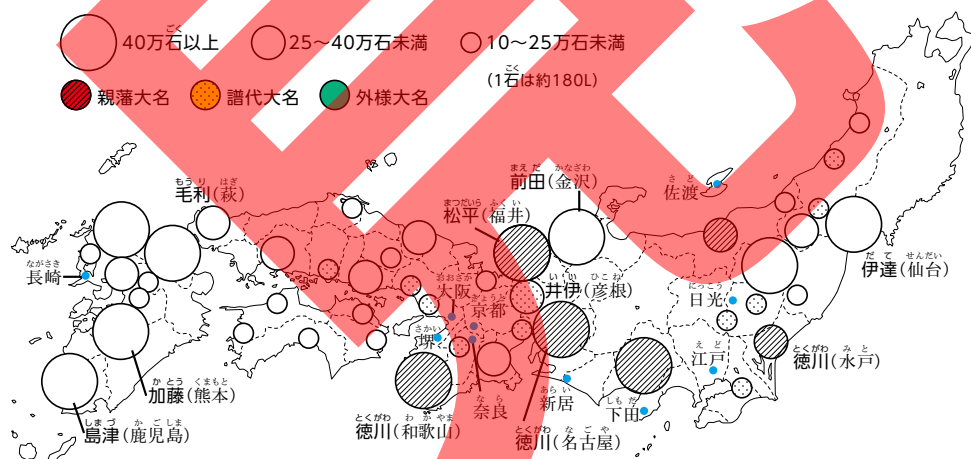
現在の岡崎市にある岡崎城は、徳川家康が生まれた城です。



NHK for School HP  
「徳川家康～戦国から江戸へ～」

### 2 大名配置

(1) 親藩大名には赤色●，譜代大名には黄色●，外様大名には緑色●をぬりましょう。



▲1632年ごろの大名配置の様子

(2) 上の資料について書かれた次の文を読んで、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕徳川家の親せきは5つである。  
 ②〔 〕江戸や京都の周りには、親藩大名や譜代大名が多い。  
 ③〔 〕江戸から遠く離れた所に外様大名が多い。



#### 用語解説

##### ● 親藩大名

徳川家の親せき

##### ● 譜代大名

古くからの徳川家の家来

##### ● 外様大名

関ヶ原の戦い後に徳川家に  
 従った大名



愛知の●●

#### 尾張徳川家

現在の愛知県西部を中心に  
 支配していた尾張徳川家は、  
 親藩大名の一つでした。



NHK for School HP  
「江戸幕府のしくみ」

### 3 将軍による支配の安定

次の資料は、江戸幕府が大名に対してつくったきまりです。次の問いに答えましょう。

- 一 ●大名は、毎年4月に参勤交代<sup>さんきんこうたい</sup>すること。近ごろは、参勤交代の人数が多すぎるので、少なくすること。
  - 一 自分の領地の城を修理する場合、届け出<sup>とど</sup>ること。
  - 一 将軍の許可なしに、大名の家どうして結婚<sup>けっこん</sup>してはいけない。
  - 一 ●すべて幕府の法令<sup>しやう</sup>に従い、全国どこでもそれを守ること。
- (●印は、家光の時代<sup>いえみつ</sup>に加えられた)



NHK for School HP  
「参勤交代」

- (1) このきまりのことを何といいますか。〔 〕
- (2) 参勤交代について、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。
- ①〔 〕徳川家康が将軍のころ、参勤交代の制度が整えられた。
  - ②〔 〕幕府は大名の妻と子を入質として、常に江戸のやしきに住まわせた。
  - ③〔 〕大名は領地と江戸に1年おきに住んだ。



豆知識

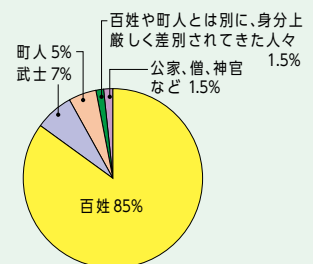
東海道などの五街道が整備され、飛脚<sup>ひきやく</sup>や旅人が行き来するようになりました。



用語解説

#### 身分

江戸時代には武士や百姓<sup>ひやくしやう</sup>、町人などの身分が固定化し、武士を中心とする身分制が定着しました。



▲江戸時代（終わりごろ）の身分ごとの人口の割合  
〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉



NHK for School HP  
「江戸時代の農村の暮らし」

### 4 江戸時代の百姓の生活

- ①～④の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。
- 百姓は、〔① 〕とよばれる有力者を中心に、自分たちで〔② 〕を運営した。幕府や藩<sup>はん</sup>は〔② 〕のまとまりを利用し、〔③ 〕というしくみをつくらせて、収穫<sup>しゆうかく</sup>の半分にもなる重い〔④ 〕<sup>おさ</sup>を納めさせたり、いろいろな役（力仕事）<sup>やく</sup>をさせたりした。こうした中でも百姓は、農具を改良したり肥料をくふうしたりして、農業技術を進歩させた。

### 5 鎖国<sup>さこく</sup>にいたるまでの様子

正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕江戸幕府は、初めは外交をさかんにしようとして、大名や商人に許可状をあたえて外国との貿易を保護した。
- ②〔 〕外国の貿易船に乗って日本にきた宣教師<sup>せんきやうし</sup>たちにより、仏教の信者が増え、幕府の命令に逆らうものが出てきた。
- ③〔 〕島原・天草一揆<sup>しまはら あまくさい</sup>をきっかけに、絵踏<sup>えふ</sup>みを行ってキリスト教信者を見つけ出し、いっそう厳しく取りしまった。
- ④〔 〕中国とアメリカに限り、長崎<sup>ながさき</sup>における貿易船の出入りを許可した。
- ⑤〔 〕出島<sup>しゅじま</sup>は長崎の港につくられた人工の島だった。

## 8 町人の文化と新しい学問

## 1 町人に広がる文化と新しい学問

(1) 人物と関係の深い文や資料を線で結びましょう。

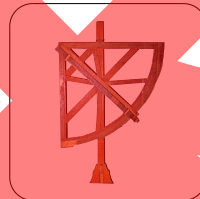


※1

東海道の名所風景をえがいた浮世絵「東海道五十三次」は旅にあこがれる人々の心をとらえました。



全国の測量を幕府に命じられ、日本地図を作りました。



古くからの日本人の考え方を研究する国学者で、「古事記伝」という書物を完成させました。



※2



※3

歴史上の物語や実際に起きた事件を題材に歌舞伎や人形浄瑠璃の脚本を書きました。



※4



西洋の学問である蘭学を学び、オランダ語の医学書をほん訳し、「解体新書」を出版しました。



※4



用語解説

## 東海道五十三次の宿場町

東海道は江戸時代の京都と江戸を結ぶ道で、53の宿場町がありました。愛知県も通っており、いくつかの宿場町があります。



JR東海ツアーズHP  
「東海道五十三次の宿場町を巡ろう!」

※1 〈早稲田大学演劇博物館〉

※2 〈人形浄瑠璃文楽「管根崎心中」〉  
(国立劇場)

※3 〈早稲田大学図書館〉

※4 〈内藤記念くすり博物館〉



ヒント!

(2) 次の文章を読み、正しいものには○を、まちがっているものには×を [ ] の中に書きましょう。

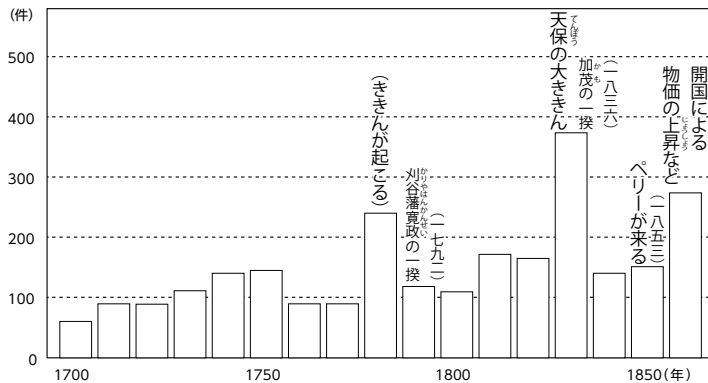
- ① [ ] 浮世絵は多色刷りで値段が高く、あまり広まらなかった。
- ② [ ] 力をつけた町人や百姓が観光をかねてお寺や神社へお参りの旅に行けるようになった。
- ③ [ ] 鎖国を続けていた日本は、江戸時代の中ごろになっても洋書の輸入が厳しく禁じられていた。
- ④ [ ] 江戸時代の日本は、寺子屋とよばれる教育機関が町や村にも多くでき、文字が読める人の割合が高い国だった。

(2) 平和が続く、社会が安定してくると、武士以外の人々の中にも、文化や学問に親しむ人が現れました。



## 2 人々の暮らしと新しい時代への動き

(1) 百姓一揆が200件以上起きた年のグラフを赤色●でぬりましょう。



(2) 上のグラフから読み取れることがらとして正しいものを2つ選び、  
[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ] ききんが起ったり、物価が上昇したりすると、一揆の件数が増える。
- ② [ ] 一揆の件数が最も多かったのは1860年代である。
- ③ [ ] 一揆が200件以上起きた時期が3回ある。

(3) 百姓一揆や打ちこわしが全国各地で起こるようになると、人々はどう  
ようなことに気づくようになりましたか。「幕府や藩」ということばを  
使って書きましょう。

(4) ①～⑤の [ ] にあてはまることばを下の [ ] の中から選んで書き  
ましょう。



〈大阪城天守閣〉



▲左の人物が起こした反乱の様子  
〈大阪歴史博物館〉

人物名 [ ① ]

まちの人々を救おうとしない [ ② ] たちを批判し、 [ ③ ]  
で反乱を起こした。そして [ ④ ] から米などを取り上げて、  
[ ⑤ ] に分けあたえようとした。

前野良沢

裕福な人々

大商人

葛飾北斎

役人

江戸

大塩平八郎

大阪

苦しんでいる人々

農民

### 用語解説

#### 百姓一揆

農民の反抗運動。重い年貢  
などが原因で農民の生活が  
苦しくなり、領主や役人、  
地主などを攻撃しました。

### 用語解説

#### 打ちこわし

米の不足や、米の値段上昇  
によって、生活に苦しむ  
人々が、米屋・酒屋などを  
おそいました。

### ヒント!

(3) このころ、大きなききんや物価の上昇によって、  
人々の生活が苦しくなると  
いう社会問題が起きていま  
した。しかし、幕府や藩は、  
これを十分に解決すること  
ができませんでした。

### 愛知の●●●

渡辺華山

三河国田原藩（現在の田原  
市）の藩士で蘭学者。高野  
長英らとともに、幕府の鎖  
国政策を非難したためにと  
らえられ、処罰されました。



公益財団法人華山会HP  
「華山の生涯」

## 9 明治の国づくりを進めた人々

## 1 若い武士たちが幕府をたおす

- (1) ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕の中から選んで書きましょう。



人物名

〔①〕

1853年〔②〕

の使者・

〔①〕が4せきの軍艦を率いて〔③〕へ  
来航し、大統領の手紙を幕府にわたして  
〔④〕を求めた。

1854年〔⑤〕条約を結び国交を  
開いたことで〔⑥〕の状態が終わり、

1858年にはアメリカとの間に〔⑦〕  
条約を結び、外国との貿易が始まった。

イギリス

日米修好通商

鎖国

長崎

ペリー

開国

浦賀

アメリカ合衆国

坂本龍馬

日米和親

- (2) 1854年以降、各国と条約を結んで貿易を始めたことで、日本国内にはどのような変化が起きましたか。「物価」ということばを使って書きましょう。

- (3) ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。



人物名〔①〕

〔②〕



人物名〔③〕

〔④〕

藩

藩

- ・長州藩と同盟を結び、倒幕運動で大きな役割を果たした。  
・明治政府の指導者になったが、後に辞任して薩摩に帰った。

- ・〔①〕とともに倒幕運動の中心となった。  
・明治政府の指導者として、近代日本の方向を定めた。



人物名〔⑤〕

〔⑥〕

藩

- ・倒幕運動の中心となり、明治政府の指導者になった。  
・五箇条の御誓文を作成したことで有名。

〔①〕〔③〕〔⑤〕たちは新しい政府をつくる運動を始めた。

このような動きにおされた15代将軍の〔⑦〕

は、1867年に政権を朝廷に返し、260年余り続いた江戸幕府は終わりを告げた。

NHK for School HP  
「明治と文明開化」横浜開港資料館HP  
「現場たんけん・ペリーが横浜にやってきた」

愛知の

## ええじゃないか

慶応3(1867)年7月、三河の国渥美郡年呂村(現在の豊橋市)で、空から伊勢神宮のお札が降ってきたという話が広がりました。人々は、「ええじゃないか、ええじゃないか」と歌い踊りました。

※1 〈西郷南州顕彰館〉

※2 〈山口県立山口博物館〉

霊山歴史館  
「幕末維新クイズ」に挑戦してみよう!

## 2 明治新政府の改革

(1) 右の資料は1868年に定められた政治の方針です。これを何というのでしょうか。

- 一 政治のことは、会議を開き、みんなの意見を聞いて決めよう。
- 一 みんなが心を合わせ、国の政策を行おう。
- 一 みんなの志がかなえられるようにしよう。
- 一 これまでのよくないしきたりを改めよう。
- 一 新しい知識を世界に学び、国を栄えさせよう。

(2) これは、誰の名で定められましたか。

(3) 明治政府の行った改革について、①～⑤にあてはまることばを下の□の中から選んで書きましょう。

|      |   |                                         |
|------|---|-----------------------------------------|
| 中央集権 | ① | 全国の藩をなくし、新たに県や府を置き、政府が任命した役人に治めさせた。     |
| 教育   | ② | 6才以上の男女が小学校に通うことが定められた。                 |
| 富国強兵 | ③ | 20才になった男子に、3年間軍隊に入ること義務づけた。             |
|      | ④ | 国の税を、農民が米で納める年貢から、土地の持ち主が現金で納めるやり方に変えた。 |
|      | ⑤ | 富岡製糸場をはじめとする、国が運営する官営工場を開いた。            |

殖産興業 文明開化 廃藩置県 地租改正 徴兵令 学制

(4) 明治政府が「富国強兵」を目指した理由を「ヨーロッパの国々」ということばを使って書きましょう。

## 3 新しい世の中と自由民権運動

人物と関係の深いことがらを線で結びましょう。



板垣退助と日本で初めての政党内閣を組織した。

「学問のすゝめ」という本を書いた。

初代内閣総理大臣に任じられた。

政府の指導者だったが、政府を去り、国会開設の要望書を出した。



### 廃藩置県と愛知県

1871年(明治4年)に廃藩置県後、愛知県は12の県に分けられました。その後、名古屋県と額田県になり、1872年(明治5年)に現在の愛知県となりました。愛知県ができてから150年になるのを記念して2022年に「あいち県民の日」ができました。



### 欧米の文化を取り入れる

欧米にわたり、進んだ文化や考え方を学んだ福沢諭吉・津田梅子・渋沢栄一らによって、日本の近代化は大きく進歩しました。福沢諭吉は旧一万円札、津田梅子は五千円札、渋沢栄一は一万円札の肖像画の人物としても知られています。

## 10 世界に歩み出した日本

## 1 条約改正と日清・日露戦争

(1) 日本が江戸時代の終わりに欧米諸国と結んだ不平等条約の内容について、正しいものを2つ選び、[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ] 外国人の罪を、日本の法律でさばくことができない。  
 ② [ ] 安い外国製品の関税を高くすることができる。  
 ③ [ ] 罪をおかした外国人を、日本の法律・裁判所でさばくことができる。  
 ④ [ ] 輸入品にかかる税金を自由に決める権利が認められない。

(2) ①～⑥の[ ]にあてはまることばや人名を書きましょう。

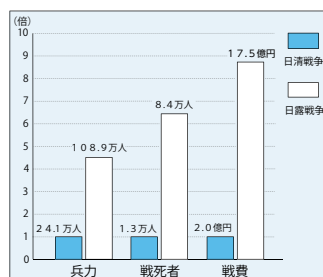
| 時代 | 年    | できごと                    |
|----|------|-------------------------|
| 江戸 | 1853 | ペリーが浦賀に来る               |
|    | 1854 | 日米和親条約を結び開国する           |
|    | 1858 | 日米修好通商条約を結ぶ             |
| 明治 | 1868 | 五箇条の御誓文が出される            |
|    | 1883 | 鹿鳴館で舞踏会などが開かれる          |
|    | 1886 | [①] 事件が起きる              |
|    | 1889 | [②] を発布する               |
|    | 1894 | [人名③] がイギリスとの条約の一部を改正する |
|    | 1904 | [④] が始まる(～95)           |
|    | 1911 | [⑤] が始まる(～05)           |
|    |      | [人名⑥] が条約改正を達成する        |

(3) ③、⑥の人物が改正に成功した不平等条約の内容をそれぞれ書きましょう。

- ③の人物 [ ] をなくす。  
 ⑥の人物 [ ] の回復。

(4) 右のグラフを見て、正しいものを2つ選び、[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ] 日清戦争の戦費は、日露戦争の8倍以上かかった。  
 ② [ ] 日露戦争の戦死者は、日清戦争より多かった。  
 ③ [ ] 日露戦争の兵力は、日清戦争の4倍以上となった。



※日清戦争の数値を1とした場合



NHK for School HP  
「治外法権の撤廃」

## 用語解説

ろくめいかん  
鹿鳴館

とうきょうと ひびや  
東京都日比谷につくられた建物。西洋の人をまねいて、ダンスパーティーなどを行い、日本の近代化を示し、条約改正の交渉を有利に進めようとした。

## ヒント!

(3) 不平等条約の内容は、日本の国際的な地位の向上と共に段階的に改正されました。

愛知の●●●  
ぐんと とよはし  
軍都だった豊橋

強い軍隊をつくるという明治政府のもとで、豊橋市に陸軍の兵舎や演習場ができました。ここから軍隊が日清戦争や日露戦争へ出動しました。



## 2 世界へ進出する日本

(1) 人物名と写真や関係の深い文を線で結びましょう。

|                  |   |                                                                                   |   |                                                     |
|------------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------|
| のぐちひでよ<br>野口英世   | • |  | • | 戦場にいる弟を思う詩を<br>発表し、戦争に反対する<br>気持ちを表した。              |
| にとべいなぞう<br>新渡戸稲造 | • |  | • | 国際連盟の事務局次長を<br>務め、日本と外国との間<br>で理解を深めることに力<br>をつくした。 |
| ひぐちいちよう<br>樋口一葉  | • |  | • | へび毒の研究で注目され、<br>アフリカで黄熱病を調査<br>研究した。                |
| よさのあきこ<br>与謝野晶子  | • |  | • | 社会の変化の中でなやみ<br>苦しむ人々のすがたを小<br>説に表現した。               |

※1

(2) 条約改正や医学の発展を通して、世界における日本の地位はどうなりましたか。

## 3 生活や社会の変化

5枚の写真を参考にして、①～⑤の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。



1925年に〔①〕放送が始まった。電車やバスなどの〔②〕も整備され、都市部を中心に〔③〕的な生活をもたらした。



平塚らいてうや市川房枝らは、新婦人協会を設立し、〔④〕の権利を守ることをうったえた。就職や結婚などで差別されてきた人々は〔⑤〕をつくり、差別をなくす運動をした。

### 用語解説

きたさとしばさぶろう  
北里柴三郎

破傷風という病気の治療のしかたを発見しました。また、伝染病の研究所を設立し、野口英世などの若い医師を育てました。千円札の肖像画の人物としても知られています。

※1 〈台東区立一葉記念館〉

### 愛知の●●● 小淵志

1880年代、製糸業と紡績業がさかんになりました。1847年群馬県に生まれた小淵志は、1885年に豊橋市に製糸工場をつくります。そこで玉繭から糸を紡ぐ方法を開発し、東三河の製糸業の発展に大きな功績をあげました。

### ヒント!

(2) このころの日本は、医学などの分野で国際的に認められるようになってきました。



パナソニックキッズスクールHP  
「タイムスリップ大作戦」

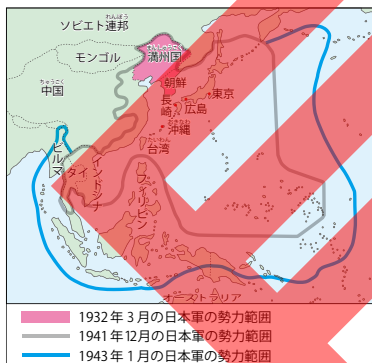
## 11 長く続いた戦争と人々の暮らし / 12 新しい日本, 平和な日本へ

## 1 戦争が世界に広がる

(1) ①～⑦にあてはまることばを下の□の中から選んで書きましょう。

| 年    | できごと                                                                |
|------|---------------------------------------------------------------------|
| 1931 | 満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し〔①〕<br>が起こる                                         |
| 1933 | 日本が国際連盟を脱退する                                                        |
| 1937 | 〔②〕が始まる                                                             |
| 1939 | ドイツとイギリスやフランスが戦争になり,<br>〔③〕が始まる                                     |
| 1941 | 日本がハワイ真珠湾を攻撃し, 〔④〕が始まる                                              |
| 1945 | 8月6日〔⑤〕に, 8月9日〔⑥〕に,<br>アメリカ軍によって原子爆弾が落とされる<br>8月15日に日本は〔⑦〕し, 戦争が終わる |

|            |                     |            |                   |               |            |                 |
|------------|---------------------|------------|-------------------|---------------|------------|-----------------|
| ながさき<br>東京 | まんしゅうじへん<br>第二次世界大戦 | なごや<br>名古屋 | にっちゅう<br>日中戦争     | にっろう<br>日露戦争  | しょうり<br>勝利 | たいへいよう<br>太平洋戦争 |
| とうきょう      |                     |            | なんきんじけん<br>ナンキン事件 | ちようせん<br>朝鮮戦争 | ひろしま<br>広島 | こうふく<br>降伏      |



▲日本の勢力範囲

|                                           |         |
|-------------------------------------------|---------|
| ●中国                                       | 約1000万人 |
| ●朝鮮                                       | 約20万人   |
| ●東南アジア<br>(ベトナム, フィリピン, インドネシア,<br>インドなど) | 約890万人  |
| ●日本<br>(軍人)                               | 約310万人  |
| (民間人)                                     | 約230万人  |
|                                           | 約80万人   |

▲第二次世界大戦でなくなったアジアの人々(推定)

(2) 上の資料を見て, 正しいものには○を, まちがっているものには×を  
〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 〕日本軍の勢力が最も広がったのは1943年である。  
 ②〔 〕戦争による推定死者数は, 日本が最も多い。  
 ③〔 〕日本軍の勢力は中国全土に広がった。  
 ④〔 〕中国の推定死者数は日本の3倍以上である。

(3) 日本が東南アジア方面にまで勢力を広げた理由を書きましょう。

## 用語解説

## 国際連盟

1920年(大正9年)に世界の平和と国際協力を目的としてつくられました。

1933年, 日本は満州への侵略について各国から非難を受け, 国際連盟を脱退しました。

## 愛知の豊川海軍工廠

海軍が戦争で使う機銃や弾丸を作るために, 豊川市に大きな工場がつけられました。たくさんの人が働いていましたが, 広島に原爆が落とされた次の日, 豊川海軍工廠も爆撃され, 2500人以上が亡くなりました。その多くが10～20代の若者でした。

豊川市HP  
「豊川海軍工廠」

## 豆知識

## 世界恐慌

世界中が不景気になり, 会社や工場がつぶれて生活に苦しむ人々が多くなりました。このままでは日本がほろびると主張する人々もいました。

## 2 民主主義による国を目指して

(1) 敗戦後の日本について、正しいものを2つ選び、〔 〕の中に○を書きましょう。

- ①〔 〕ドイツなどの連合軍に占領された。  
 ②〔 〕民主主義国家としての再出発を目指した。  
 ③〔 〕戦争が終わり、食べ物に不自由することが無くなった。  
 ④〔 〕戦後改革とよばれる多くの改革を行った。

(2) ①～⑩にあてはまることばを下の〔 〕の中から選んで書きましょう。

|      |           |      |                               |
|------|-----------|------|-------------------------------|
| 選挙制度 | 満25才以上の男子 | 戦後改革 | 満〔①〕才以上の〔②〕の参政权が認められる         |
| 農地   | 大地主と小作農家  |      | 小作農家も自分の〔③〕がもてる               |
| 学校教育 | 小学校6年間    |      | 〔④〕学校6年<br>〔⑤〕学校3年 } 9年間の男女共学 |

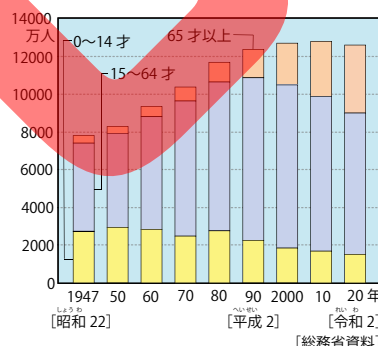
| 年    | できごと                    |
|------|-------------------------|
| 1946 | 〔⑥〕憲法が公布される             |
| 1956 | 日本が〔⑦〕への加盟を認められる        |
| 1964 | 東京〔⑧〕・〔⑨〕が開かれる          |
| 1970 | 日本万国博覧会が開かれる            |
| 1972 | アメリカに統治されていた〔⑩〕が日本に復帰する |

|      |       |        |    |    |         |    |     |
|------|-------|--------|----|----|---------|----|-----|
| 国際連合 | 大日本帝国 | 20     | 25 | 30 | 男性      | 女性 | 男女  |
| 農地   | 小     | オリンピック | 沖縄 | 中  | パラリンピック |    | 日本国 |

## 3 これからの日本を考えよう

(1) 右の資料を見て、正しいものに○を、まちがっているものに×を〔 〕の中を書きましょう。

- ①〔 〕0～14才の割合は1980年～2020年の間で減っている。  
 ②〔 〕人口が一番多いのは1980年である。  
 ③〔 〕40年ほど前から65才以上の割合は増え続けている。



▲少子高齢化と人口の移り変わり  
 〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

(2) これから日本はどのような国を目指していったらよいのでしょうか。学んだことをもとにあなたの考えを書きましょう。

### 用語解説

#### 国際連合

第二次世界大戦の反省のもとに設立され、多くの国々が協力し合って、国際的な問題解決をする場となりました。国連加盟後、日本もさまざまな活動に協力し、世界の国々からその活やくが認められています。

### 用語解説

#### 大地主と小作農家

小作農家は、自分の土地を持たず、大地主から土地を借りて農業をしていました。収穫したものから小作料を払い、残りのお金で生活していました。

### 愛知の愛知県と伊勢湾台風

1959年(昭和34年)に全国的な被害をおよぼした台風。愛知県は特に高潮によって3200名以上の死者・行方不明者を出すなど、大きな被害を受けました。



内閣府HP  
 「みんなで減災」

### ヒント!

(2) 日本の文化や技術は世界で認められ、世界にこうけんしています。しかし、解決しなければならない問題もたくさんあります。どのような問題を解決し、どのような社会を目指していけばよいのでしょうか。

# 〔日本の歴史年表〕

○は社会についてのできごと、●は文化についてのできごと、  
青文字はこの地方のできごとを表しています。

| 時代        |      | 主なできごと                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                       |
|-----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本の国の成り立ち | 縄文時代 | 1万年<br>前<br>○かりや漁をしにくらす<br>●土器がつくられ始める                                                                                                                                                                                       | どのようなことをしたのか説明できる歴史人物に、赤色でしるしをつけましょう。                                                                                                                                 |
|           | 縄文時代 | ●縄文土器が使われる                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                       |
|           | 弥生時代 | 2300<br>年前<br>●弥生土器が使われる<br>●米づくりと金属器が大陸から伝わる                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                       |
|           | 弥生時代 | 石器、骨角器などを使う(古胡貝塚など・現在の田原市)<br>稲作がこの地方でも始まる(瓜郷遺跡など・現在の豊橋市)                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                       |
| 古墳時代      | 弥生時代 | 57<br>小さな「くに」が各地にできる<br>倭奴国王が中国に使いを送る                                                                                                                                                                                        | 卑弥呼(2世紀末～3世紀前期)                                                                                                                                                       |
|           | 弥生時代 | 239<br>邪馬台国の女王卑弥呼が中国に使者を送る                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                       |
|           | 古墳時代 | ●各地に古墳がつくられる<br>大和朝廷が国土の統一を進める<br>大仙古墳ができる<br>●漢字や織物の技術が中国から伝わる<br>●大陸文化が広がる                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                       |
|           | 古墳時代 | ●仏教が伝わる<br>○蘇我氏の勢いが強くなる<br>聖徳太子が摂政となる                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                       |
| 貴族の世の中    | 古墳時代 | 593<br>十七条の憲法を定める<br>小野妹子を遣隋使として隋に送る<br>●法隆寺が建てられる<br>遣唐使がはじまる<br>大化の改新がはじまる                                                                                                                                                 | 聖徳太子(574～622)<br>小野妹子(6世紀末～7世紀前期)                                                                                                                                     |
|           | 古墳時代 | 604<br>607<br>607<br>630<br>645<br>奈良(平城京)に都を移す<br>●古事記ができる<br>●日本書紀ができる<br>●東大寺の大仏ができる<br>●唐の僧鑑真が日本に来る<br>京都(平安京)に都を移す                                                                                                      |                                                                                                                                                                       |
|           | 古墳時代 | 710<br>712<br>720<br>752<br>754<br>794<br>奈良(平城京)に都を移す<br>●古事記ができる<br>●日本書紀ができる<br>●東大寺の大仏ができる<br>●唐の僧鑑真が日本に来る<br>京都(平安京)に都を移す                                                                                               |                                                                                                                                                                       |
|           | 古墳時代 | 866<br>894<br>901<br>藤原氏が初めて摂政になる<br>遣唐使を廃止する<br>菅原道真が九州へ追放される<br>●かな文字は広まり、日本風の文化が育つ<br>○荘園がふえ、地方の反乱が相次ぐ<br>●『枕草子』や『源氏物語』ができる                                                                                               |                                                                                                                                                                       |
| 武士の世の中    | 平安時代 | 1016<br>藤原道長が摂政になる<br>○藤原氏ははなやかなくらしをする<br>○武士が力をもち始める<br>●平等院鳳凰堂ができる<br>院政が始まる                                                                                                                                               | 中臣鎌足(614～669)<br>中大兄皇子(626～671)<br>行基(668～749)<br>鑑真(688～763)<br>聖武天皇(701～756)<br>尾張の国司の悪政を住人が訴える(988)<br>清少納言(10世紀後期～11世紀前期)<br>紫式部(10世紀後期～11世紀前期)<br>藤原道長(966～1027) |
|           | 平安時代 | 1053<br>1086<br>院政が始まる                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                       |
|           | 平安時代 | 1167<br>1185<br>1192<br>平清盛が太政大臣になる<br>平氏がほろびる<br>源頼朝が征夷大将軍となる                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                       |
|           | 鎌倉時代 | 1221<br>承久の乱が起こる<br>●新しい仏教が広まる<br>北条時宗が執権になる<br>元が攻めてくる(文永の役…1274、弘安の役…1281)                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                       |
| 武士の世の中    | 鎌倉時代 | 1333<br>1338<br>鎌倉幕府がほろびる<br>足利尊氏が幕府を開く<br>○南朝と北朝の対立が続く                                                                                                                                                                      | 足利義満(1358～1408)<br>雪舟(1420～1506)<br>足利義政(1436～1490)<br>ザビエル(1506～1552)<br>織田信長(1534～1582)<br>豊臣秀吉(1537～1598)<br>徳川家康(1542～1616)<br>徳川家光(1604～1651)                    |
|           | 室町時代 | 1397<br>1404<br>●足利義満が金閣をたてる<br>明との貿易をはじめる<br>○農民の団結が強くなる<br>●民衆の文化が発展する                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                       |
|           | 室町時代 | 1467<br>応仁の乱が起こる(～1477)<br>○以後100年ほど国がみだれる<br>●足利義政が銀閣をたてる                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                       |
|           | 室町時代 | 1543<br>1549<br>1573<br>1575<br>1585<br>1600<br>1603<br>1612<br>1615<br>1615<br>ポルトガル人が鉄砲を伝える<br>●ザビエルがキリスト教を伝える<br>織田信長が室町幕府をほろぼす<br>長篠・設楽原の戦いがおこる<br>豊臣秀吉が関白になる<br>関ヶ原の戦いがおこる<br>徳川家康が江戸幕府を開く<br>幕府がキリスト教を禁止する<br>豊臣家がほろびる |                                                                                                                                                                       |
| 江戸時代      | 室町時代 | 1635<br>1637<br>1639<br>徳川家光が参勤交代を制度化する<br>島原・天草一揆がおこる<br>鎖国が完成する                                                                                                                                                            | 近松門左衛門(1653～1724)<br>本居宣長(1730～1801)<br>杉田玄白(1733～1817)<br>伊能忠敬(1745～1818)<br>ペリー(1794～1858)<br>歌川広重(1797～1858)                                                       |
|           | 江戸時代 | ●大阪を中心に町人文化が栄える                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                       |
|           | 江戸時代 | ●蘭学や国学がさかになる<br>●江戸を中心に町人文化が栄える<br>●寺小屋が広まる                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                       |
|           | 江戸時代 | 1833<br>天保の大きなおこる(～1839)<br>○農民の一揆や打ちこわしが多くなる                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                       |



|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|--------|------|------|-------------------------------------|----------------------------------------|------------------|
| 武士の世の中 | 江戸時代 | 1837 | 大塩平八郎の乱がおこる                         | 渡辺華山(田原藩)が、西洋の学問を研究し幕府をひはん             | 勝海舟(1823～1899)   |
|        |      | 1853 | ペリーが浦賀(現在の神奈川県)に来る                  | したという理由でとらえられる(1837)                   |                  |
|        |      | 1854 | 日米和親条約を結び開国する                       |                                        | 西郷隆盛(1827～1877)  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1858 | 各国と修好通商条約を結ぶ                        |                                        | 大久保利通(1830～1878) |
|        |      | 1866 | 薩摩と長州が連合する                          | 徳川慶喜が第二次長州征伐を行い、岡崎に立ちよる(1866)          | 木戸孝允(1833～1877)  |
|        |      | 1867 | 15代将軍慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)              |                                        | 明治天皇(1852～1912)  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1868 | 明治維新 江戸を東京とする                       | 宮島騒動がおこる(現在の愛知県)(1867)                 | 福沢諭吉(1834～1901)  |
|        |      | 1868 | 五箇条の御誓文が出される                        | 豊田騒動がおこる(現在の新城市)(1870)                 | 板垣退助(1837～1919)  |
|        |      | 1871 | 廃藩置県がおこなわれる                         |                                        | 大隈重信(1838～1922)  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1871 | 岩倉使節団が欧米諸国を視察する                     |                                        |                  |
|        |      | 1872 | ●学校の制度ができる                          | 愛知県ができる(1872)                          | 伊藤博文(1841～1909)  |
|        |      | 1873 | 徴兵令が出される 地租改正が行われる                  |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1877 | 西南戦争がおこる                            | 宮島清蔵がガラ紡を始める(1877)                     | 陸奥宗光(1844～1897)  |
|        |      |      | ○自由民権運動がさかになる                       | 明治用水ができる(1880)                         | 東郷平八郎(1847～1934) |
|        |      |      | ○官営紡績工場ができる                         |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1885 | 伊藤博文が最初の内閣総理大臣となる                   | 笹島(名古屋)駅ができる(1885)                     | 小村寿太郎(1855～1911) |
|        |      | 1889 | 大日本帝国憲法が発布される                       |                                        |                  |
|        |      | 1890 | 第1回帝国議が開かれる                         |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      | ○軽工業が発達する                           |                                        |                  |
|        |      | 1894 | 領事裁判権の廃止に成功                         |                                        |                  |
|        |      | 1894 | 日清戦争がおこる(～1895)                     | 豊田佐吉が動力織機を発明する(1897)                   | 野口英世(1876～1928)  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1904 | 日露戦争がおこる(～1905)                     |                                        |                  |
|        |      |      | ○重工業が発達しはじめる                        | 豊橋市ができる(1906)                          |                  |
|        |      | 1910 | 韓国を併合する                             |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1911 | 条約改正を達成する                           |                                        |                  |
|        |      | 1914 | 第一次世界大戦がおこる(～1918)                  |                                        |                  |
|        |      | 1918 | 「米騒動」がおこる                           | 岡崎市ができる(1916)                          |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1918 | 政党内閣ができる                            |                                        |                  |
|        |      |      | ○社会運動が高まる                           |                                        |                  |
|        |      | 1920 | 国際連盟に加盟する                           |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1922 | 全国水平社の創立大会が開かれる                     |                                        |                  |
|        |      | 1923 | 関東大震災がおこる                           |                                        |                  |
|        |      | 1925 | 普通選挙法と治安維持法が定められる                   | 名古屋放送局、ラジオ放送開始(1925)                   |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      | ○世の中が不景気になり、失業者がふえる                 | 愛知電鉄(名古屋鉄道の前身)                         |                  |
|        |      |      |                                     | 「神宮前-古田」間が開通する(1927)                   |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1931 | 満州事変がおこる                            |                                        |                  |
|        |      |      | ○軍人の力が強くなる                          |                                        |                  |
|        |      | 1933 | 国際連盟を脱退する                           | 豊田自動織機製作所で自動車の商品化に着手する(1933)           |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1937 | 日中戦争がおこる(～1945)                     |                                        |                  |
|        |      | 1939 | 第二次世界大戦がおこる(～1945)                  | 愛知県初の満州移民(1939)                        |                  |
|        |      |      | ○言論や思想の取りしまりがきびしくなる                 |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1941 | 太平洋戦争が始まる(～1945)                    | 豊川市ができる(1943)                          |                  |
|        |      | 1945 | 広島・長崎に原子爆弾が落とされる                    | 三河地方に大地震がおこる(1945)                     |                  |
|        |      | 1945 | ポツダム宣言を受け入れる(降伏する)                  | 豊橋市、岡崎市などが空しゅうを受ける(1945)               |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1945 | 女性の参政権が認められる                        |                                        |                  |
|        |      |      | ○日本の民主化が進む                          |                                        |                  |
|        |      | 1946 | 日本国憲法が公布される                         | 戦後初の国勢調査、愛知県の人口は約310万人(1947)           |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1947 | ●6・3制の義務教育が始まる                      | 碧南市ができる(1948)                          |                  |
|        |      | 1949 | ●湯川秀樹がノーベル賞を受賞する                    | 刈谷市ができる(1950)                          |                  |
|        |      | 1950 | 朝鮮戦争がおこる(～1953)                     | 挙母(こども)市ができる(1951)                     |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1951 | サンフランシスコ平和条約を結ぶ                     | 日本初の民間ラジオ放送が名古屋で始まる(1951)              |                  |
|        |      | 1951 | 日米安全保障条約を結ぶ                         | 安城市ができる(1952)                          |                  |
|        |      | 1952 | 日本が独立を回復する                          | 西尾市ができる(1953)                          |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     | 名古屋でテレビ放送が開始される(1954)                  |                  |
|        |      |      |                                     | 蒲郡市ができる(1954)                          |                  |
|        |      | 1956 | 国際連合に加盟する                           | 新城市ができる(1958)                          |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     | 挙母市が豊田市と名前を変える(1959)                   |                  |
|        |      |      |                                     | 伊勢湾台風で5,000人以上の人が死ぬ(1959)              |                  |
|        |      |      |                                     | 愛知用水ができる(1961)                         |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1964 | 東海道新幹線が開通する                         |                                        |                  |
|        |      | 1964 | オリンピック・パラリンピック東京大会が開かれる             |                                        |                  |
|        |      | 1965 | 大韓民国と国交を回復する                        | 豊川用水ができる(1968)                         |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      | ○公害が社会問題になる                         | 東名高速道路が開通する(1969)                      |                  |
|        |      | 1970 | ●大阪万国博覧会が開かれる                       | 知立市・高浜市ができる(1970)                      |                  |
|        |      | 1972 | 冬季オリンピック札幌大会が開かれる                   |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1972 | 沖縄が日本に復帰する                          |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 1978 | 日中平和友好条約を結ぶ                         |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      | 1985 | 男女雇用機会均等法が公布される                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      | 1993 | ●法隆寺や姫路城が世界文化遺産になる                  |                                        |                  |
|        |      | 1994 | 日本が子どもの権利条約を承認する                    |                                        |                  |
|        |      | 1995 | 阪神・淡路大震災がおこる                        |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      | 1998 | 「地球温暖化防止会議」が京都で開かれる                 |                                        |                  |
|        |      | 1998 | 冬季オリンピック・パラリンピック長野大会が開かれる           |                                        |                  |
|        |      | 2000 | 九州・沖縄サミットが開かれる                      |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 2002 | サッカーのワールドカップが日本と韓国で開かれる             | 平成の大合併が行われる(2003～2010)                 |                  |
|        |      |      |                                     | 田原市ができる(2003)                          |                  |
|        |      | 2004 | イラクの復興支援に自衛隊が派遣される                  | 愛知で万国博覧会が開かれる(2005)                    |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 2005 | ●愛知で万国博覧会が開かれる                      |                                        |                  |
|        |      | 2008 | 野生復帰を目指して、トキが放鳥される                  | みよし市ができる(2010)                         |                  |
|        |      |      |                                     | 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開かれる(2010) |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 2011 | 東日本大震災がおこる                          | 新東名高速道路(愛知県区間)ができる(2016)               |                  |
|        |      |      |                                     | 先進国首脳会議が三重県で開かれる(2016)                 |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 | 2019 | 天皇が退位し、元号が「令和」にかわる                  |                                        |                  |
|        |      | 2020 | 新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的流行・緊急事態宣言の発令 |                                        |                  |
|        |      | 2021 | オリンピック・パラリンピック東京大会が開かれる             | 県政150周年記念「あいち県民の日」ができる(2022)           |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
|        |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中 | 明治時代 |      |                                     |                                        | </               |

令和7年度版 社会の友 6年

編集：「社会の友」編集委員会  
三河教育研究会

刊行：公益財団法人 愛知教育文化振興会  
〒444-0868 岡崎市明大寺町馬場東170番地1  
電話 (0564) 51-4819

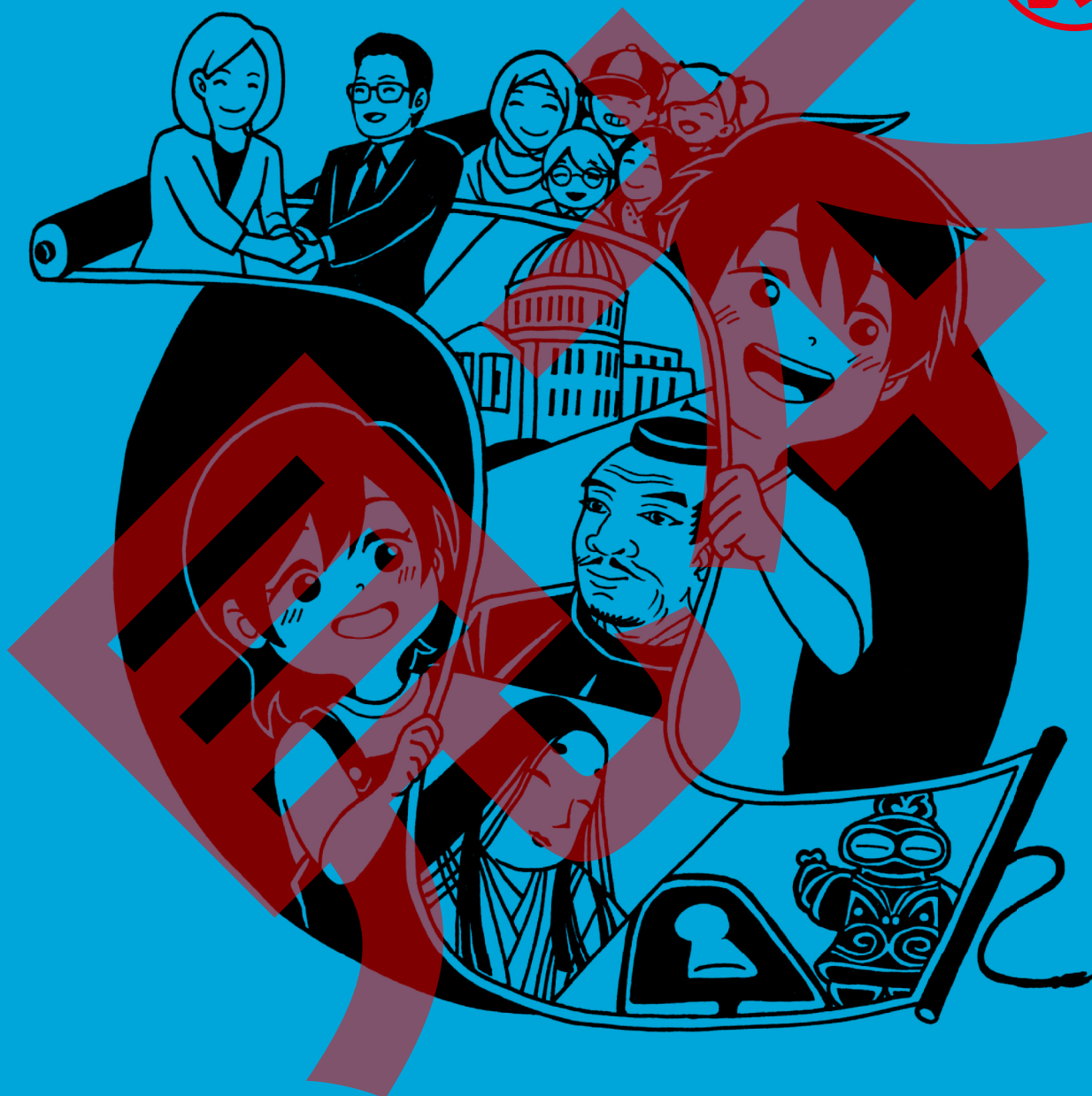
印刷：あいち印刷株式会社

6年 組 番

名前

# 社会の友 6年

教



愛知教育文化振興会  
三河教育研究会

令和7年度版

# 社会の友 6年

## もくじ

### I わたしたちの生活と政治

|                                                                            |   |
|----------------------------------------------------------------------------|---|
| ① わたしたちのくらしと日本国憲法 <sup>けんぽう</sup> .....                                    | 2 |
| ② 国の政治のしくみと選挙.....                                                         | 4 |
| ③ 子育て支援 <sup>しえん</sup> の願いを実現する政治・震災復興 <sup>しんさいふっこう</sup> の願いを実現する政治..... | 6 |

### 3 世界の中の日本

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| ① 日本とつながりの深い国々.....                 | 7 |
| ② 世界の未来と日本の役割 <sup>やくわり</sup> ..... | 8 |

### 2 日本の歴史

|                                                            |    |
|------------------------------------------------------------|----|
| ① 縄文 <sup>じょうもん</sup> のむらから古墳 <sup>こふん</sup> のくにへ.....     | 10 |
| ② 天皇 <sup>てんのう</sup> 中心の国づくり／③ 貴族 <sup>きぞく</sup> のくらし..... | 12 |
| ④ 武士の世の中へ／⑤ 今に伝わる室町 <sup>むろまち</sup> 文化.....                | 14 |
| ⑥ 戦国 <sup>せんごく</sup> の世から天下統一 <sup>てんかとういつ</sup> へ.....    | 16 |
| ⑦ 江戸幕府 <sup>えどばくふ</sup> と政治の安定.....                        | 18 |
| ⑧ 町人 <sup>ちやうにん</sup> の文化と新しい学問.....                       | 20 |
| ⑨ 明治 <sup>めいじ</sup> の国づくりを進めた人々.....                       | 22 |
| ⑩ 世界に歩み出した日本.....                                          | 24 |
| ⑪ 長く続いた戦争と人々のくらし／⑫ 新しい日本，平和な日本へ.....                       | 26 |

|                |    |
|----------------|----|
| 〈日本の歴史年表〉..... | 28 |
|----------------|----|



## 1 わたしたちのくらしと日本国憲法

## 1 わたしたちのくらしと日本国憲法

- (1) 日本国憲法の三つの原則について、①～③の□にあてはまることばを書きましょう。

|       |   |          |                 |
|-------|---|----------|-----------------|
| 三つの原則 | ① | 国民主権     | ……政治の主人公は国民     |
|       | ② | 基本的人権の尊重 | ……生まれながらの権利を大切に |
|       | ③ | 平和主義     | ……二度と戦争をしない     |



## 用語解説

## 日本国憲法

日本のきまりのなかで最高のもので、国の法律や地方の条例はすべて、日本国憲法をもとにしてつくられています。



NHK for School HP  
「国民主権」

- (2) 日本国憲法の公布された日は、現在祝日になっています。

何月何日か書きましょう。

〔 11月3日 〕

- (3) 政治に参加する権利のことを何というか書きましょう。

〔 参政権 〕

- (4) 日本国憲法の前文（要旨）について、次の①～⑤の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

日本国民は、選挙で選ばれた国会議員を〔① 国民〕の代表とします。

わたしたちは、世界の国々となかよく〔② 協力〕し合い、国全土にわたって〔③ 自由〕がもたらすすばらしさをみなぎらせ、政府の行いによって二度と〔④ 戦争〕が起こることのないようにすることを決意しました。

そして、わたしたちは、〔⑤ 主権〕が国民にあることを宣言して、この憲法をつくりあげました。

国民

主権

自由

協力

戦争



## ヒント！

(4) 教科書P.15の「日本国憲法前文に示された国民主権の宣言（要旨）」を読んで、ことばを当てはめましょう。

- (5) 日本国憲法では、天皇はどのように定められているか、□にあてはまることばを書きましょう。

日本の国や国民のままとりの

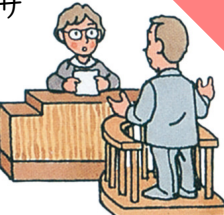
象徴（しるし）

## 2 国民の権利と義務

(1) 次の文にあてはまる国民の権利と義務について、下の資料のア～スの記号を選び、    の中に書きましょう。

- ① スーパーで買い物をするときに消費税を納める。 ケ
- ② 祖母は、退職後に大学に入り勉強をしている。 ク
- ③ おうちの人は、会社や工場、お店で働いている。 オ キ
- ④ 体の不自由なお年寄りが、福祉センターで入浴サービスを受けることができる。 カ

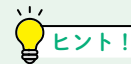
(2) 資料の中から、国民の義務にあてはまるものを見つけて、ア～スの記号に○をつけましょう。

|                                                                                                                           |                                                                                                                                   |                                                                                                                              |                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ア</b><br><br>子どもに教育を受けさせる義務<br>(第26条) | <b>イ</b><br><br>働く人が団結する権利<br>(第28条)             | <b>ウ</b><br><br>思想や学問の自由<br>(第19条、第23条)     | <b>エ</b><br><br>個人の尊重、法の下の平等<br>(第13条、第14条) |
| <b>オ</b><br><br>仕事について働く義務<br>(第27条)    | <b>カ</b><br><br>健康で文化的な生活を営む権利<br>(生存権) (第25条) | <b>キ</b><br><br>仕事について働く権利<br>(第27条)      | <b>ク</b><br><br>教育を受ける権利<br>(第26条)        |
| <b>ケ</b><br><br>税金を納める義務<br>(第30条)     | <b>コ</b><br><br>言論や集会の自由<br>(第21条)             | <b>ク</b><br><br>言論や集会の自由<br>(第21条)        | <b>カ</b><br><br>言論や集会の自由<br>(第21条)        |
| <b>サ</b><br><br>裁判を受ける権利<br>(第32条)     | <b>シ</b><br><br>居住や移転、職業を選ぶ自由<br>(第22条)        | <b>ス</b><br><br>政治に参加する権利<br>(参政権) (第15条) | <b>セ</b><br><br>政治に参加する権利<br>(参政権) (第15条) |

## 3 暮らしの中の平和主義

非核三原則について、    にあてはまることばをひらがなで書きましょう。

「核兵器を も た ない、 つ く ら ない、  
も ち こ ま せ ない」



(1)② だれにでも学ぶ権利があります。



愛知の

愛知県人権尊重の社会づくり条例

2022年4月にあらゆる人権に関する課題の解消を図るとともに、全ての人の人権が尊重される社会を目指すためにつくられました。



豆知識

原子爆弾 (原爆)

かつて日本は、広島と長崎に原爆を落とされ、多くの犠牲者を出しました。日本は世界でただ一つの被爆国として、非核三原則をかげ、核兵器をなくすことをうたえ続けています。



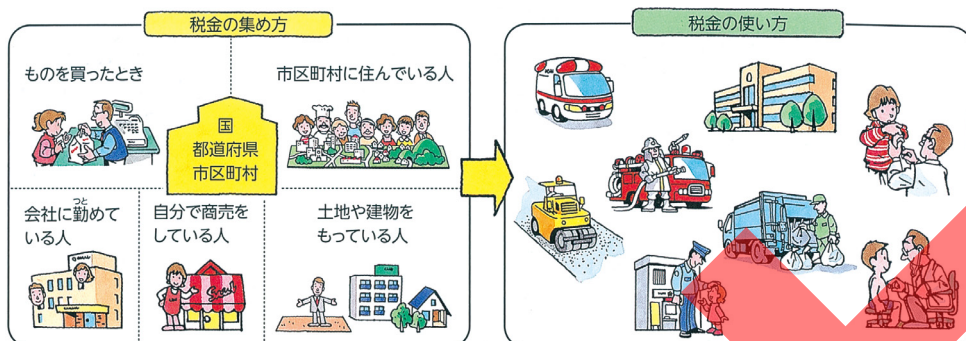
広島市  
「原爆被害の概要」



長崎市被爆継承課  
「キッズ平和ながさき」

## 2 国の政治のしくみと選挙

## 1 選挙のしくみと税金のはたらき



▲税金の集め方と使い方

国税庁  
「税の学習コーナー」

(1) 図を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔○〕税金はものを買ったときにも集められる。
- ②〔×〕税金は市役所でしか集めない。
- ③〔×〕税金は一部の人のみだけに使われる。
- ④〔○〕税金は消防、警察などの住民の安全を守ることに使われる。
- ⑤〔○〕税金はごみを処理するために使われる。

(2) 選挙権について、①～③の〔 〕にあてはまることばや数字を書きましょう。

- ① 国会での話し合いは選挙で選ばれた〔 国会議員 〕が進める。
- ② 選挙で投票することは、〔 18 〕才以上の国民に認められている。
- ③ 選挙で投票することは国民が政治に参加する大切な〔 権利(機会) 〕だ。

(3) 国民の祝日について、〔 〕にあてはまる数字を書きましょう。

- ① 建国記念の日 〔 2 〕 月 〔 11 〕 日

(国がつくられた昔を思い、国を愛する心を養う。)

- ② 憲法記念日 〔 5 〕 月 〔 3 〕 日

(日本国憲法の施行を記念し、国の成長を願う。)

## 用語解説

## 国民の祝日

国民の祝日に関する法律によって定められた、国民が祝い、感謝する日です。

## 成人の日

1月の第2月曜日

大人になったことを自覚し、自分自身の力で生きていこうとする若者を祝いはげます日です。

## こどもの日

5月5日

子どもの人格を重んじ、子どもの幸福が実現されるよう努力するとともに、母に感謝する日です。

## 勤労感謝の日

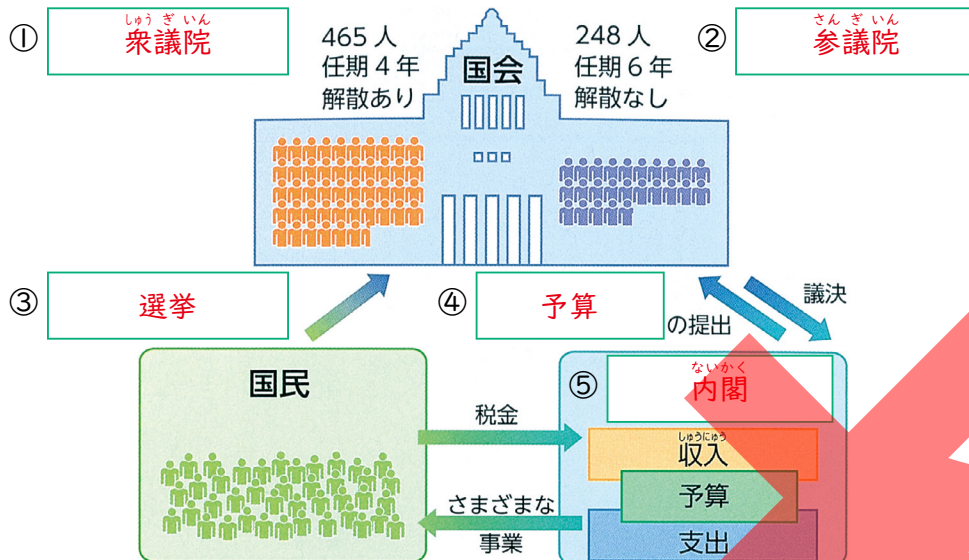
11月23日

勤労をたっとうび、生産を祝い、国民がたがいに感謝し合う日です。

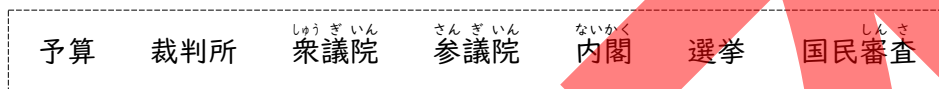


## 2 国の政治のしくみ

(1) 下の図の①～⑤にあてはまることばを下の□から選んで書きま  
しょう。



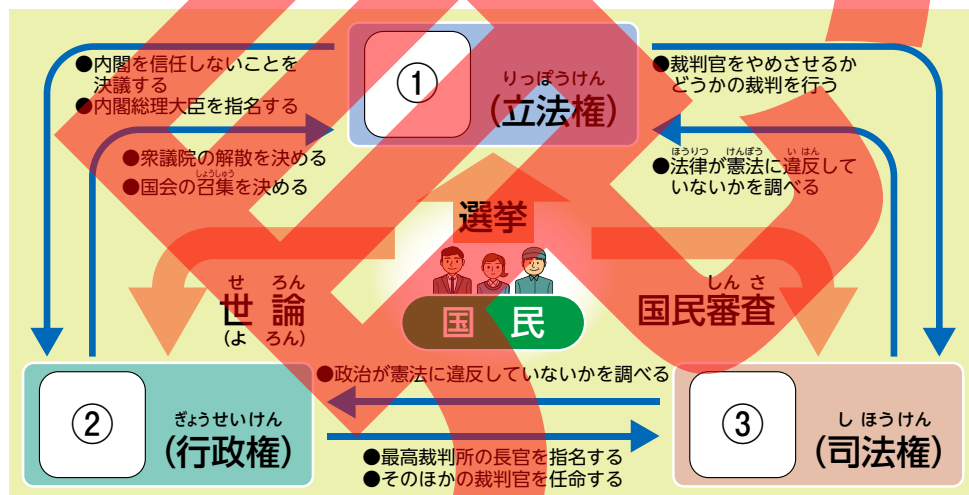
▲国民と国会と内閣の関係〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉



(2) 下の図を見て①～④にあてはまることばを〔 〕の中に書きましょう。

①〔国会〕 ②〔内閣〕 ③〔さいばん 裁判所〕

①～③のような役割を分担するしくみを④【さんけんぶんりつ 三権分立】という。



(3) 裁判員制度の目的を書きましょう。

(例)・国民が主権者として裁判への関心をもつため。

- ・国民の感覚や視点<sup>してん</sup>を裁判に生かすため。 など

(4) 裁判では、同じ事件について3回まで裁判を受けることができます。  
その理由を書きましょう。

(例)・裁判のまちがいを防ぎ、人権を守るため。

- ・裁判所による判決に不服がある場合があるため。 など



参議院キッズページ  
「国会のひみつをさがろう!」



**用語解説**

さいばん  
**裁判員制度**

国民が裁判員として裁判に参加する制度です。裁判員は、選挙権をもっている人の中からくじで選ばれ、刑罰が重い犯罪の裁判に裁判官とともに加わります。そして、うったえられた人が有罪が無罪か、有罪の場合、どのくらいの刑にするのかを判断します。



法務省 きっずる一む  
「裁判員制度ってなに？」



NHK for School HP  
「三権の役割」



ヒント！

(3) 国民が裁判に参加することによってどのようなよいことがあるのでしょうか。

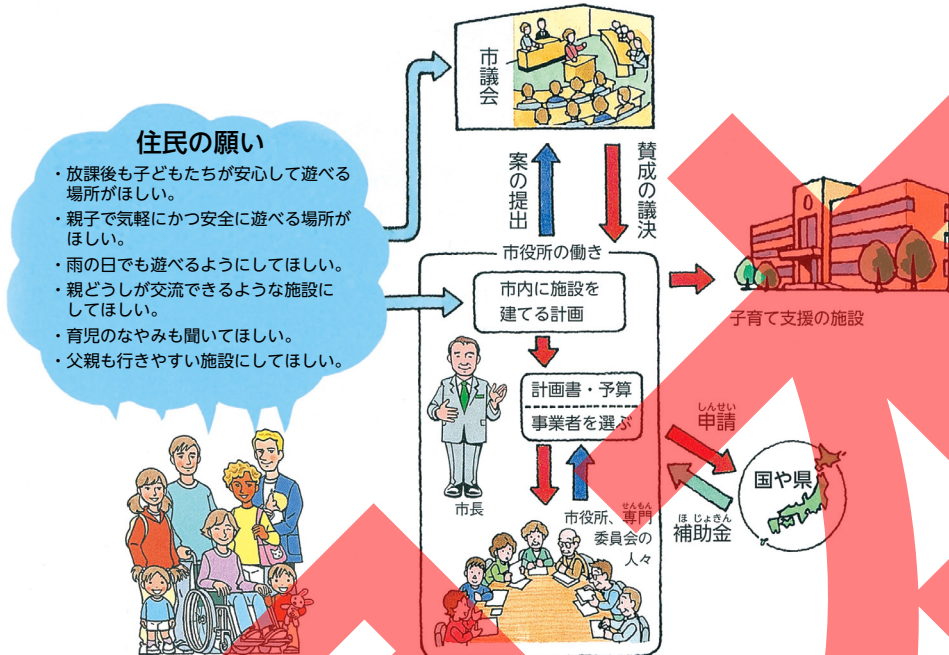


### 3 子育て支援の願いを実現する政治・震災復興の願いを実現する政治

★学習した方を選んで問題に答えましょう。

#### 1 子育て支援の願い

子育て支援施設が建設されるまでの市や市議会の働きについて、下の図を見ながら①～③の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

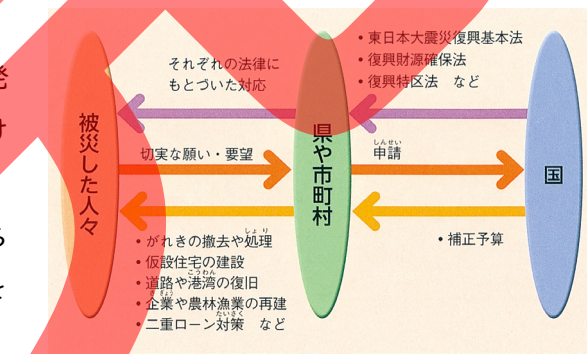


▲子育て支援の施設の建設に向けた市役所の働き

地域の公共施設は、〔① 住民（市民）〕の願いをもとに市が計画を立てる。そして、〔② 市議会〕で話し合われ、建設が決定し、予算がつく。また、その建設の一部を〔③ 国や県〕が補助する。

#### 2 震災復興の願い

右の資料を見て、災害が発生した時の復旧・復興に向けた政治の取り組みについて、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。



▲復旧・復興に向けた国や県、市町村の政治の働き  
〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉

- ①〔○〕被災した人々の切実な願いや要望から、国は復興に必要な法律を制定する。
- ②〔×〕被災した人々のみで、がれきの撤去など復興に向けて整備を行う。
- ③〔○〕県や市町村と国が協力して、被災した人々を助けるしくみができた。



愛知の

#### はぐみんカード

子育て家庭に配付される「子育て家庭優待カード」です。愛知県内の協力店舗・施設で提示すると、お店が設定した商品の割引やサービスを受けることができます。



あいち はぐみんネット  
「はぐみんカードの利用方法」



NHK for School HP  
「災害復旧と復興」

## 1 日本とつながりの深い国々

## 1 日本と関係の深い国

(1) 下の  の国々を、決められた色でぬりましょう。

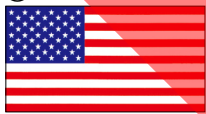
アメリカ合衆国……赤色 ● フランス……黄色 ●  
 中華人民共和国(中国)……水色 ● ブラジル……緑色 ●

NHK for School HP  
「世界の国の人々」

(2) 下の①～④の国旗の国名と首都名を[ ]に書きましょう。

また、その国について紹介した文を線で結びましょう。

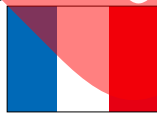
①



②



③



④



国名 [アメリカ合衆国] [中華人民共和国(中国)] [フランス] [ブラジル]  
 首都名 [ワシントンD.C.] [ペキン(北京)] [パリ] [ブラジリア]

小麦や大麦、  
バターやチーズ、  
ワインの輸出が多  
い。サッカーが有名。  
日本から移住した  
人も多い。世界2  
位の長さのアマゾ  
ン川がある。多くの輸出品があ  
る。さまざまな国  
から来た人やその  
子孫、先住民など  
がいっしょにくら  
している。IT特区とよばれ  
る地区がある。日  
本にお茶や漢字な  
どたくさんものを  
伝えた。キッズ外務省  
「世界の学校を見てみよう」株式会社 明治  
「比べてみよう!世界の食と文化」

愛知の●●●

## 市町村の友好(姉妹)都市

新城市—ニューキャッスル(アメリカ)  
 西尾市—ポリルア(ニュージーランド)  
 豊川市—キューパティーノ(アメリカ)  
 安城市—ボブソンズベイ(オーストラリア)

## 2 世界の未来と日本の役割

### 1 世界のさまざまな課題と取り組み

(1) 国際連合（国連）について、次のそれぞれの文章にあてはまる機関の名前を書きましょう。

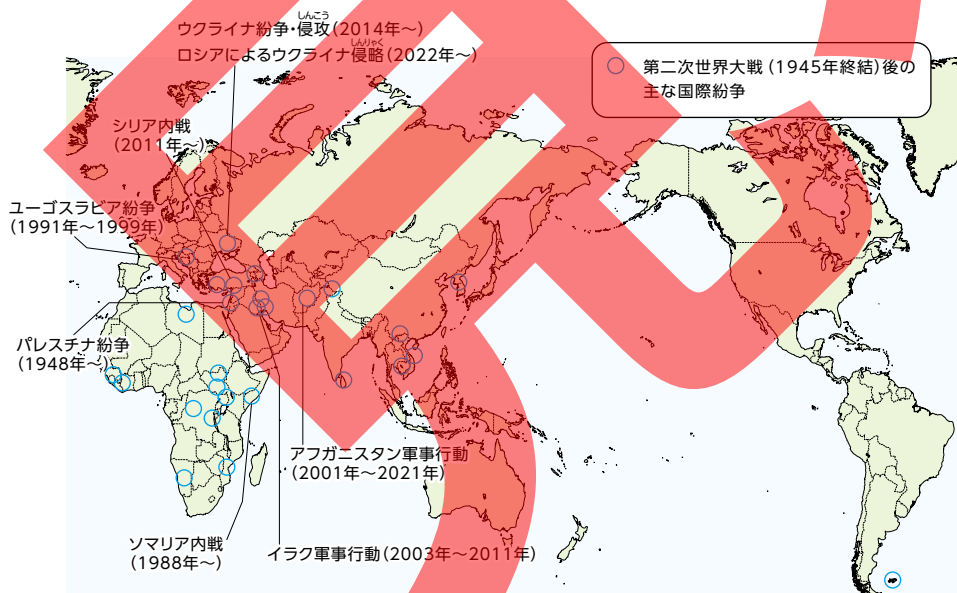
- ① 教育、科学、文化を通じて、平和な社会をつくることを目的としている。世界文化遺産の修復活動などを行っている。

[ ユネスコ ]

- ② 戦争や食料不足による飢えなど、厳しい暮らしをしている地域の子どもたちを助ける目的でつくられた。最近では、東日本大震災で被災した子どもたちへの支援を行った。

[ ユニセフ ]

(2) 国際紛争の地図を見て、紛争が起きた地域や時期について気づいたことや考えたことを書きましょう。



(例) ・第二次世界大戦後も国際紛争が起きている。

・ユーラシア大陸の南の方で国際紛争が多く起きている。 など



NHK for School HP  
「世界の人々とともに生きる」

用語解説

#### 持続可能な開発目標(SDGs)

「だれひとり取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて、17の目標（ゴール）と、それらを達成するための、169の具体的な取り組みが設定されました。



日本ユニセフ協会  
「SDGs CLUB」

用語解説

#### 紛争

政治的・経済的な理由や民族、宗教などの問題から、国家や勢力が対立して争っている状態をいいます。武力を用いることも多くあります。紛争が原因で住む場所をはなれたり追いやられたりした、難民とよばれる人々が多くいます。

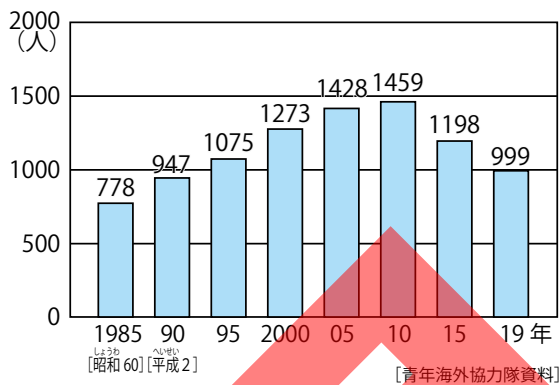
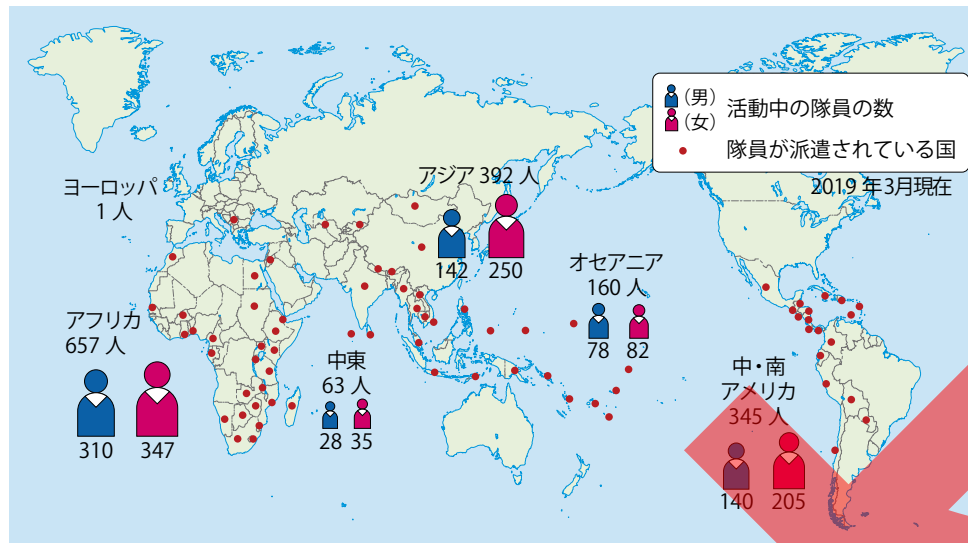


ヒント！

(2) どのあたりで紛争が起きているか注目しましょう。



- (3) 青年海外協力隊について、下の資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。



▲青年海外協力隊の派遣国  
〈東京書籍：新しい社会6年 政治・国際編(R6)〉

◀派遣された人たちの人数

- ①〔 × 〕青年海外協力隊に派遣された人の数は1990年から2010年にかけて、年々減っている。
- ②〔 ○ 〕青年海外協力隊が派遣される国は、南半球が多い。
- ③〔 × 〕派遣された地域で2番目に多いのは中・南アメリカである。

- (4) 国際協力や国際交流について、①～④の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

〔① **ODA** (政府開発援助)〕は、政府による〔② **国際協力**〕の活動である。社会環境が十分に整備されていない国に対し、資金や技術を提供している。〔③ **青年海外協力隊**〕は、日本の〔①〕の活動の一部で、教育や医療などの分野で自分の知識や技術を生かしたいという意欲をもった人たちが世界で活やくしている。

また、政府や国連から独立して活動している民間の団体を〔④ **NGO (非政府組織)**〕という。日本にも世界で活やくする多くの団体がある。これからは、〔①〕と〔④〕がそれぞれよい点を生かして〔②〕を進めていくことが期待されている。



NHK for School HP  
「世界の国々と日本の国際協力」

#### 用語解説

オーディーエー えんじょ  
**ODA (政府開発援助)**  
かいはつ と じょうこく  
開発途上国の経済や社会の発展、国民の福祉向上や生活の安定に協力するために行われる政府または政府実施機関が提供する資金や技術協力のことです。

#### 用語解説

#### 国際協力

十分な社会環境が整備されていない国に対し、産業や生活のための援助を日本などの先進国とよばれる国が行っています。また、政府の活動とは別に、支援が必要と思われる国へ行き、現地の助けとなる活動をする人々もいます。

#### 用語解説

エヌジーオー ひせいふ そしき  
**NGO (非政府組織)**  
えいり  
市民が主体となり、営利を目的とせずに、海外の課題を解決し、よりよい社会をつくる活動を行う団体のことです。



## 1 縄文のむらから古墳のくにへ

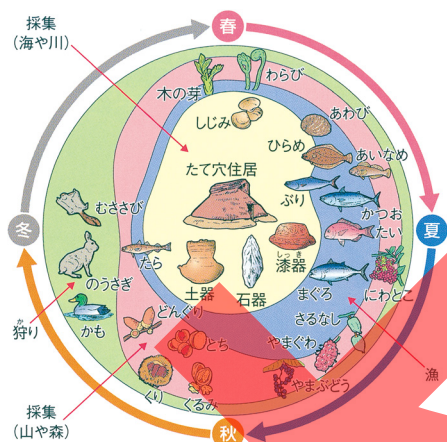
## 1 大昔のむらのくらし

(1) 右の縄文時代に関わる資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔○〕貝や木の実を集めたり、動物や魚をとったりして生活した。
- ②〔×〕冬は、動物より魚を食べることが多い。

③〔○〕石器を使い、たて穴住居に住んでいた。

(2) 人々が食べ物をにたり、たくわえたりするために、右の写真のような器を使いました。この器を何といいますか。〔 縄文土器 〕



▲縄文時代の人々の1年の生活  
〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉



## 用語解説

## 貝塚

縄文時代の人々は、食料として食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所を決めていました。そのため、むらがあった場所の近くの地層からは、貝がらや動物の骨、土器のかけらなどが発掘されます。

## 愛知の

## 愛知県の貝塚の一部

かれきのみや にしお  
枯木宮貝塚 (西尾市)  
おおぐる わ なごや  
大曲輪貝塚 (名古屋市中区)  
こまば とよた  
駒場貝塚 (豊田市)  
よしご たはら  
吉胡貝塚 (田原市)  
ほりうち あんじょう  
堀内貝塚 (安城市) など  
愛知県もたくさんの地域から貝塚が発掘されています。

## 2 米作りの広がりによるむらの変化

(1) 弥生時代について、〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕から選んで書きましょう。

- ① 西日本を中心に〔 米 〕づくりが広がり、保存することが可能な食料として、人々の生活の安定に役立った。
- ② おらとおらの間で、食料や種もみ、〔 田や用水 〕などをめぐって、争いが起こるようになった。
- ③ 争いにそなえて、おらの周りを〔 さく 〕や堀で囲った。
- ④ おらの指導者は、強い力をもっておらを支配する〔 豪族 〕になった。

さく

はにわ

豪族

金

田や用水

米

(2) 弥生時代には、下のような文が残されています。〔 〕にあてはまることばを書きましょう。

倭(日本)の国の王は、もともとは男性が務めた。従えていたくにぐにが争いを起こし、戦いが続いたので、相談して、〔① 卑弥呼〕という女性を王に立てた。〔①〕は、〔② 邪馬台国〕という国を治めていた。



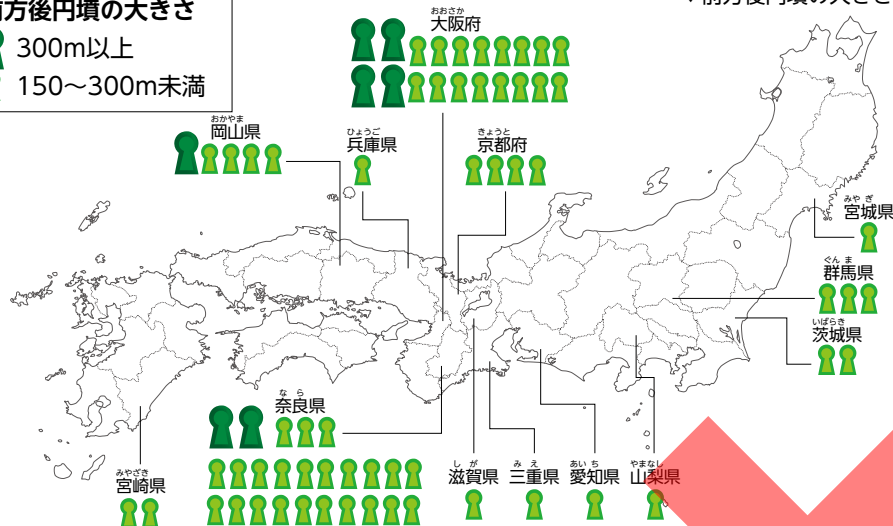
NHK for School HP  
「縄文時代と弥生時代」

### 3 巨大古墳と豪族

#### 前方後円墳の大きさ

- 300m以上
- 150～300m未満

#### ▼前方後円墳の大きさと数



(1) 上の資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を

[ ]の中に書きましょう。

- ① [ × ] 大阪府は150m以上の前方後円墳の数が全国で一番多い。
- ② [ ○ ] 愛知県には300m以上の巨大な前方後円墳は存在しない。
- ③ [ ○ ] 特に、近畿地方に、150m以上の前方後円墳が集まっている。

(2) ①～⑧の[ ]にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

この時代の近畿地方には、力の大きな[① 豪族(王)]たちが早くから現れ、それぞれのくにを治めていた。その中で、大和地方に、より大きな力をもつくにが現れた。このくにの中心になった王を、[② 大王(天皇)]といい、このくにの政府を[③ 大和朝廷(大和政権)]とよぶ。この政府は、5～6世紀ごろには、[④ 九州]地方から東北地方南部までの豪族や王たちを従えた。このころ中国や朝鮮半島から、漢字や[⑤ 仏教]などの新しい文化が伝わった。

また、[⑥ 8]世紀ごろには、[⑦ 古事記]や[⑧ 日本書紀]といった書物が天皇の命令でつくられた。

|    |            |       |     |      |        |     |
|----|------------|-------|-----|------|--------|-----|
| 九州 | 邪馬台国       | 8     | 関東  | 貴族   | 大王(天皇) | 古事記 |
| 仏教 | 大和朝廷(大和政権) | 豪族(王) | 5～6 | 日本書紀 |        |     |

(3) 渡来人について[ ]にあてはまることばを書きましょう。また、渡来人が伝えた技術を書きましょう。

渡来人…[ といじん ]と読む。[ 中国 ]や[ 朝鮮半島 ]から日本列島へわたってきて住みついた人である。  
渡来人が伝えた技術… 建築, 土木工事, 焼き物, 養蚕, はた織り, 鍛冶 など

#### 用語解説

##### 古墳

3～7世紀ごろに各地で勢力を広げ、くにをつくりあげた王や豪族の墓のこと。古墳から当時のすぐれた土木技術がわかるとともに、その大きさや副葬品などから、古墳にほうむられた人物の力の大きさが想像されます。

#### 愛知の●●●

##### 愛知県の古墳(前方後円墳)

あおつか いぬやま  
青塚古墳 (犬山市)  
だんぶさん  
断夫山古墳 (名古屋市)  
しらとりづか  
白鳥塚古墳 (名古屋市)

など



NHK for School HP  
「大仙古墳」

#### ヒント!

(2) ⑥⑦⑧の問題は、教科書P.21「神話に書かれた国の成り立ち」を読んで答えましょう。

## 2 天皇中心の国づくり / 3 貴族のくらし

### 1 聖徳太子の国づくり

- (1) 役人の位を12段階に分けて、家柄いえがらに関係なく能力や功績こうせきで役人を取り立てるしくみを何とといいますか。  
[ 冠位十二階 ]
- (2) 政治を行う役人の心構えを示したものを何とといいますか。  
[ 十七条の憲法 ]
- (3) 聖徳太子が建てた、現存する世界最古の木造建築を何とといいますか。  
[ 法隆寺 ]

### 2 大化の改新と天皇の力の広がり

- (1) 中臣鎌足とともに大化の改新を行った人物の名前を書きましょう。  
[ 中大兄皇子 ]
- (2) 天皇から政治に参加できるなどの特権をあたえられ、力の強かった豪族ごうぞくを何とといいますか。  
[ 貴族 ]
- (3) 8世紀の初めに定められた国を治めるための法律を何とといいますか。  
[ 律令 ]

### 3 奈良の大仏づくりと仏教の広がり

- (1) 聖武天皇について、①～④の [ ] にあてはまることばを下の [ ] から選んで記号で書きましょう。

聖武天皇は、唐(中国)へ使者である [ ① ウ ] を送り、皇帝中心の政治の仕組みや [ ② エ ] を学ばせた。日本に持ち帰られた文化や品物の一部は、東大寺にある [ ③ ア ] の宝物からうかがうことができる。

聖武天皇は、日本に正式の仏教を広めるために中国から [ ④ イ ] というすぐれた僧を招いた。

ア 正倉院      イ 鑑真      ウ 遣唐使      エ 大陸の文化

- (2) 聖武天皇が、国分寺や大仏を建てることを命じたわけを「仏教」ということばを使って書きましょう。

(例) 仏教の力で社会の不安をしずめ、国を治めようとしたから。など

#### 用語解説

##### 遣隋使

隋(中国)に小野妹子らを送り、政治の仕組みなど大陸文化を積極的に取り入れようとした。



NHK for School HP  
「中大兄皇子と中臣鎌足」

#### 愛知の三河国分尼寺

豊川市には、聖武天皇の命令で作られた国分尼寺が史跡公園として残っており、現在も見学することができます。かつては国分寺もありました。



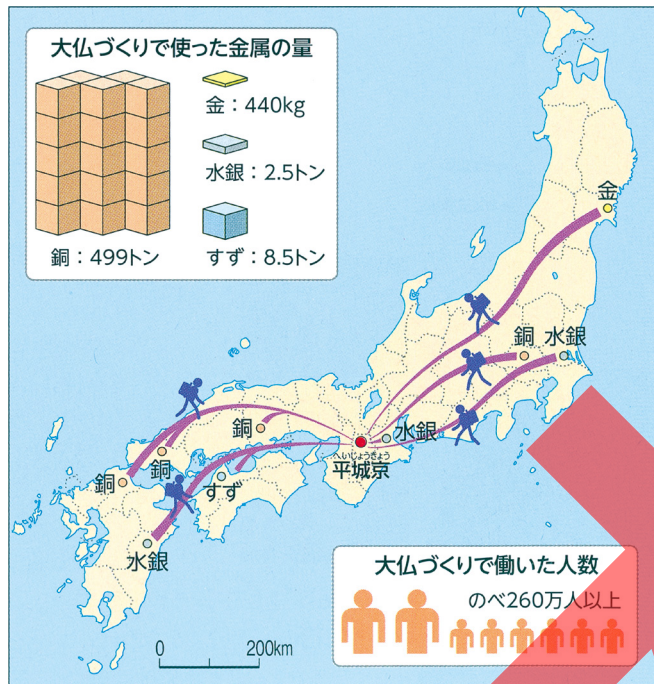
豊川市HP  
「よみがえる天平の遺産  
三河国分尼寺跡史跡公園」

#### ヒント!

(2) 聖武天皇の時代は、全国各地で災害や反乱が起こるなど、社会全体に不安が広がっていました。



- (3) 資料からわかることとして、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。



▲全国から集められた人や物資〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

- ①〔○〕大仏づくりで、のべ260万人以上の人々が働いた。  
②〔×〕大仏づくりでいちばん多く使われた金属は、すずである。  
③〔○〕働く人や金属は、九州や四国からも集められた。  
④〔×〕平城京は、現在の京都府にあった。

#### 4 平安時代の文化

- ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

都が平城京から平安京に移された平安時代になると、朝廷の政治の一部を〔① 貴族〕が動かすようになった。〔①〕は、〔② 寝殿造〕のやしきでくらし、和歌や蹴鞠などを楽しんだ。平安時代には、漢字からできた〔③ かな文字〕を使うことで、自分の気持ちなどを細かく表現できるようになり、朝廷に使える女性たちは、多くの文学作品を作った。〔④ 紫式部〕は源氏物語を、清少納言は〔⑤ 枕草子〕を書いた。

ゆうがなぐらしのなかで、〔⑥ 十二単〕とよばれる貴族の女性の服装も生み出された。このように朝廷を中心にして、美しく、はなやかな〔⑦ 日本風の文化〕が生まれた。

豪族

寝殿造

武士

大和絵

かな文字

貴族

日本風の文化

中国風の文化

十二単

紫式部

小倉百人一首

枕草子



華嚴宗大本山 東大寺の公式HP  
「東大寺キッズ」



NHK for School HP  
「紫式部・清少納言～国風文化の誕生～」



用語解説

#### 年中行事

正月の行事や端午の節句、七夕など、平安時代の行事には現在まで続いているものもあります。

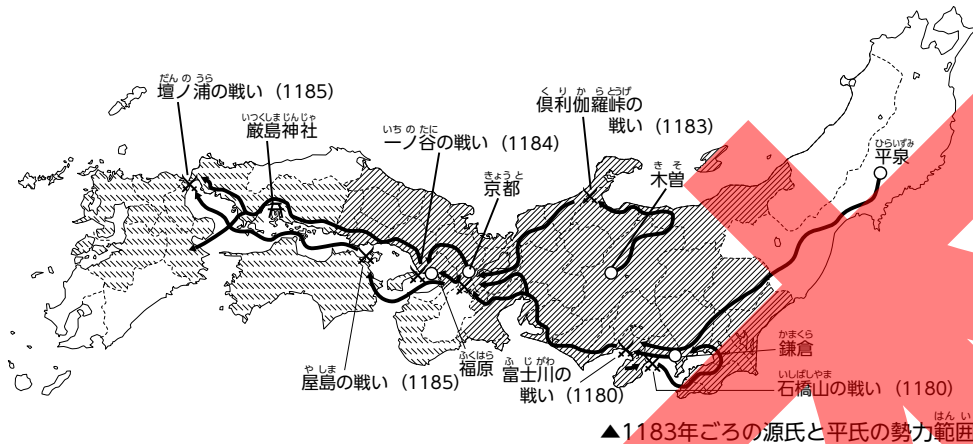


## 4 武士の世の中へ / 5 今に伝わる室町文化

## 1 武士の世の中の始まり

(1) 源氏の勢力範囲に青色●，平氏の勢力範囲に赤色●をぬりましょう。

源氏…  平氏…  (←は源氏の進路)



兵庫県立歴史博物館  
「絵解き源平合戦図屏風」

(2) 源氏と平氏に関する次の問いに答えましょう。

① 武士としてはじめて太政大臣の地位についた人物はだれですか。

[ 平清盛 ]

② 北条氏や東国（関東地方）の武士とともに，平氏をほろぼそうとしたのはだれですか。

[ 源頼朝 ]

③ ②の弟で，一ノ谷の戦いや屋島の戦いに勝ち，平氏をほろぼしたのはだれですか。

[ 源義経 ]

④ ②の人物が武士のかしらとして朝廷に任じられた役職は何ですか。

[ 征夷大將軍（將軍） ]

⑤ ②の人物が幕府を開いた場所はどこですか。

[ 鎌倉 ]

(3) 鎌倉時代の「ご恩と奉公」の関係について，[ ]にあてはまることばを書きましょう。

① ご恩……手がらをたてた武士には，新しい [ 領地 ] をあたえました。

② 奉公……戦いが起こると [ いざ鎌倉 ] とかけつけ，幕府のために命をかけて戦いました。



NHK for School HP  
「源頼朝～ご恩と奉公～」



## 用語解説

かまくらぼくふ  
鎌倉幕府

朝廷から認められ，源頼朝が鎌倉に開いた幕府のことで，武士による政治の仕組みをつくりあげました。



## ヒント！



〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

## 2 元の大軍がせめてくる

- (1) 元寇について、①～⑤の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

元という国をつくったモンゴルは、日本を従えようと使者を何回も送ってきた。執権の〔① 北条時宗〕は、この要求を退け、主に〔② 九州〕の武士を集めて、元との戦いに備えた。武士たちは、元軍の集団戦術や〔③ 火薬兵器(てつはう)〕などに苦しみながら、領地などの恩賞を得るために必死で戦った。そのことを、〔④ 一所懸命〕という。元軍を追い返すことができたが、幕府は、活やくした御家人に新しい〔⑤ 領地〕をあたえることができなかった。

暴風雨

ほうじょうときむね  
北条時宗

火薬兵器(てつはう)

いっしょけんめい  
一所懸命

きゅうしゅう  
九州

きょうと  
京都

ほうじょうまさこ  
北条政子

領地



NHK for School HP  
「北条時宗～元との戦い～」

- (2) 元寇の後、武士が幕府に不満をもつようになります。そのわけを書きましょう。

(例) 命がけて元と戦った御家人たちに対して、幕府は新しい領地をあたえることができず、ご恩と奉公の関係がくずれたため。など



ヒント!

(2) 元を追い返すことはできましたが、元の領地をもらうことはできませんでした。

## 3 室町時代の文化

- ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

3代将軍〔① 足利義満〕は、京都の北山に金閣を建てた。

8代将軍〔② 足利義政〕は、京都の東山に銀閣を建てた。

銀閣のすぐ近くにある東求堂の部屋のづくりは〔③ 書院造〕になっている。この部屋は、たたみがしきつめられ、障子やふすまで仕切られており、現在の和室につながっている。

この頃、中国から〔④ すみ絵(水墨画)〕のえがき方が伝えられた。

〔⑤ 雪舟〕は、この絵を芸術として、大成させた。

伝統芸能である〔⑥ 能〕は、足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥の父子によって大成された。

民衆などの生活を題材にして、せりふに日常の会話を用いて演じられる〔⑦ 狂言〕が民衆の間に広まった。

しよいんづくり  
書院造

ちゃ ゆ  
茶の湯

せっしゅう  
雪舟

きょうげん  
狂言

あしかがよしまさ  
足利義政

しんでんづくり  
寝殿造

すみ絵 (水墨画)

あしかがよしみつ  
足利義満

のう  
能

あしかがたかうじ  
足利尊氏

お祭り



愛知の

いなり  
豊川稲荷

日本三大稲荷の一つともいわれる豊川稲荷は、室町時代に建てられました。



豆知識

うどん、とうふ、納豆などが人々の間に広まり、しょうゆやさとうも使われるようになりました。



京都国立博物館  
「雪舟、涙で鼠を描く」

## 6 戦国の世から天下統一へ

## 1 戦国大名の登場

①～⑥の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕から選んで書きましょう。

〔① <sup>むろまちばくふ</sup>室町幕府〕がおとろえると、〔② 戦国大名〕とよばれる各地の武将が、自分の支配する土地を守るための〔③ <sup>しろ</sup>城〕をつくり、勢力を争う戦国の世となった。戦いは各地で繰り広げられ、こうした時代は15世紀の半ばから、〔④ 100〕年ほどにわたって続いた。その後、〔⑤ 天下統一〕に向けて大きな力を発揮したのは、〔⑥ <sup>ながしの</sup>長篠の戦い〕に勝利した織田信長と、そのあとをついだ<sup>とよとみひでよし</sup>豊臣秀吉であった。

| 国   | <sup>てっぽう</sup> 鉄砲 | <sup>あづちじょう</sup> 安土城 | <sup>しろ</sup> 城         | <sup>ながしの</sup> 長篠の戦い(※) |
|-----|--------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------|
| 100 | 200                | 天下統一                  | <sup>むろまちばくふ</sup> 室町幕府 | 戦国大名                     |

(※ 長篠の戦いは、現在は「長篠・設楽原の戦い」ともよばれている。)



NHK for School HP  
「戦国大名」

## 2 ヨーロッパ人の来航

(1) キリスト教の広がりについて①～⑤の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕から選んで書きましょう。

戦国大名が日本の各地で戦っていたころ、ヨーロッパ人がアジアに進出していた。日本にもスペインや〔① <sup>ポルトガル</sup>ポルトガル〕といった国から〔② <sup>せんきょうし</sup>宣教師〕や貿易船がやってきて、ヨーロッパの進んだ文化や品物をもたらした。〔③ フランシスコ・ザビエル〕は、日本に〔④ <sup>てっぽう</sup>鉄砲〕が伝わった数年後に鹿児島に来て、西日本をまわりながら〔⑤ キリスト教〕の教えを広めた。〔⑤〕を信じる戦国大名も現れた。

|                       |      |             |                    |                   |      |
|-----------------------|------|-------------|--------------------|-------------------|------|
| キリスト教                 | 仏教   | 中国          | フランス               | ポルトガル             | イタリア |
| <sup>せんきょうし</sup> 宣教師 | 戦国大名 | フランシスコ・ザビエル | <sup>てっぽう</sup> 鉄砲 | <sup>きぬ</sup> 絹織物 |      |



NHK for School HP  
「鉄砲伝来」



豆知識

西洋風のパンは、1543年  
<sup>たねがしま</sup>種子島に漂着したポルトガル人によって、鉄砲とともに日本へやってきました。



ヤマザキHP  
「鉄砲とともに日本へやってきたパン」

(2) <sup>なんばん</sup>南蛮貿易で東南アジアからもたらされたものに○を、日本から輸出されていたものに△を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔○〕鉄砲      ②〔△〕金や銀      ③〔△〕<sup>しっしき</sup>漆器などの工芸品  
④〔○〕火薬      ⑤〔○〕<sup>きいと</sup>生糸や絹織物

### 3 織田信長

①～⑨の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

織田信長は、尾張（愛知県）に生まれ、27才のときに駿河（静岡県）の今川氏の大軍を〔① 桶狭間の戦い〕で破って、全国にその名を知られるようになった。〔② 長篠の戦い〕では、武田氏の騎馬隊にそなえて、木のさく（馬防柵）を作ったり、大量の〔③ 鉄砲〕を使ったりして勝利した。〔③〕をそろえるための資金は、〔④ 堺（大阪府）〕などの商業都市を支配することで手に入れた。また、將軍の足利氏を京都から追放して〔⑤ 室町幕府〕をほろぼした。京都に近い安土（滋賀県）に〔⑥ 安土城〕を築き、天下統一に向けた拠点にした。さらに、仏教勢力を武力で従える一方で、〔⑦ キリシト教〕を保護し、学校や教会を建てることを許した。

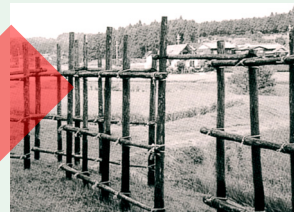
また、〔⑥〕の城下町ではだれでも商売ができ（〔⑧ 楽市・楽座〕）、市場の税や関所をなくすなど、これまでのしつみを大きく改めて商業や工業をさかんにした。

しかし、信長は天下統一の途中、京都の〔⑨ 本能寺〕で、家来の明智光秀におそわれて自害した。

長篠の戦い 鉄砲 安土城 楽市・楽座 桶狭間の戦い  
堺（大阪府） 本能寺 キリシト教 仏教 室町幕府

#### 愛知の●●● 野田城の伝説

現在の<sup>しんしろ</sup>新城市にあった野田城には、城内から聞こえる笛の音に誘われた武田信玄が、火縄銃で狙撃されたという伝説が残っています。



復元された木のさく  
（馬防柵）〈新城市〉



NHK for School HP  
「織田信長～天下統一を目指した武将～」

### 4 豊臣秀吉

①～⑥の〔 〕にあてはまることばを下の□から選んで書きましょう。

豊臣秀吉は、尾張（愛知県）の身分の低い武士の子として生まれ、〔① 織田信長〕に仕えて有力な武将となった。秀吉は〔①〕にそゐいた〔② 明智光秀〕をたおし、その後、全国の大名を次々とたおして天下統一をなしとげた。秀吉は、〔③ 大阪城〕を築き、政治の拠点とした。〔④ 検地〕を行い、土地の広さやよしあし、耕作している人物などを調べ、収入を確かなものにした。その一方で、〔⑤ 刀狩令〕を出し、百姓から刀や鉄砲などの武器を取り上げて反抗できないようにした。

天下統一をなしとげた秀吉は、中国（明）を征服しようと2度にわたって〔⑥ 朝鮮〕に大軍を送った。しかし、秀吉が途中で病死し、日本軍は引き上げた。

大阪城 朝鮮 武士 明智光秀 検地 武田信玄  
町人 織田信長 台湾 江戸城 刀狩令

#### 豆知識

検地と刀狩が行われたことで、武士と百姓・町人という身分が区別されました。



NHK for School HP  
「豊臣秀吉～武士が支配する世へ～」



# 7 江戸幕府と政治の安定

## 1 徳川家康

①～④の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕から選んで書きましょう。

徳川家康は三河（愛知県）の小さな大名の子として生まれ、周辺の大  
 名であった今川氏や織田氏の人質にされていた。家康は、秀吉の天下統  
 一のもとで、関東の有力な大名となった。秀吉の死後、天下分け目の戦  
 いといわれた〔① 関ヶ原〕の戦いで自分に反対する大名たち  
 を破り、全国支配を確かなものにした。1603年、家康は朝廷から  
 〔② 征夷大將軍〕に任じられ、〔③ 江戸〕に幕府を  
 開いた。その後、息子の秀忠に将軍をゆずり、1615年、大阪で豊臣氏  
 を滅亡させた。引退後も力を持ち、75歳で病死するまで、  
 〔④ 250〕年以上続く幕府の基礎を固めた。

かんばく

関白

350

きょうと

京都

250

せい い たいしやうぐん

征夷大將軍

関ヶ原

おけは ざま

桶狭間

え ど

江戸



愛知の●●●

### 岡崎城

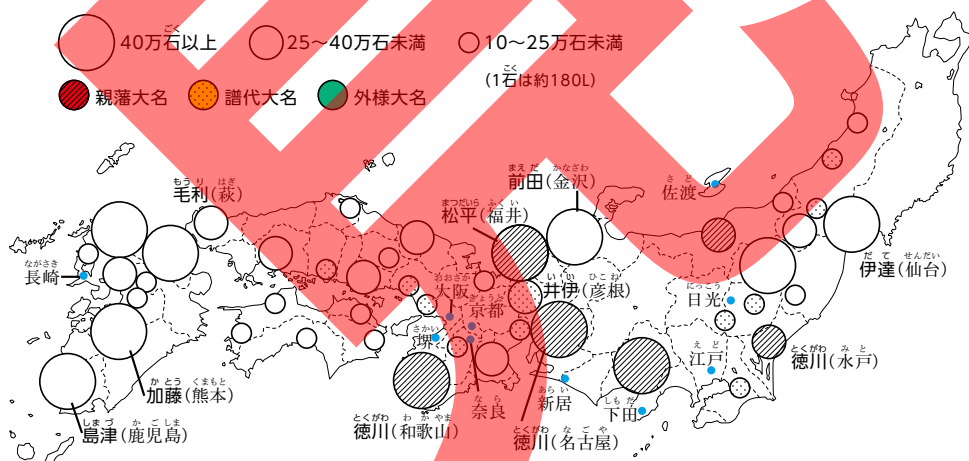
現在の岡崎市にある岡崎城は、徳川家康が生まれた城です。



NHK for School HP  
「徳川家康～戦国から江戸へ～」

## 2 大名配置

(1) 親藩大名には赤色●，譜代大名には黄色●，外様大名には緑色●をぬりましょう。



▲1632年ごろの大名配置の様子

(2) 上の資料について書かれた次の文を読んで、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 × 〕徳川家の親せきは5つである。  
 ②〔 ○ 〕江戸や京都の周りには、親藩大名や譜代大名が多い。  
 ③〔 ○ 〕江戸から遠く離れた所に外様大名が多い。



### 用語解説



#### 親藩大名

徳川家の親せき



#### 譜代大名

古くからの徳川家の家来



#### 外様大名

関ヶ原の戦い後に徳川家に従った大名



愛知の●●●

おわり

### 尾張徳川家

現在の愛知県西部を中心に支配していた尾張徳川家は、親藩大名の一つでした。



NHK for School HP  
「江戸幕府のしくみ」

### 3 将軍による支配の安定

次の資料は、江戸幕府が大名に対してつくったきまりです。次の問いに答えましょう。

- 一 ●大名は、毎年4月に参勤交代<sup>さんきんこうたい</sup>すること。近ごろは、参勤交代の人数が多すぎるので、少なくすること。
  - 一 自分の領地の城を修理する場合、届け<sup>とど</sup>け出すこと。
  - 一 将軍の許可なしに、大名の家どうして結婚<sup>けっこん</sup>してはいけない。
  - 一 ●すべて幕府の法令<sup>しやう</sup>に従い、全国どこでもそれを守ること。
- (●印は、家光の時代<sup>いえみつ</sup>に加えられた)



NHK for School HP  
「参勤交代」

- (1) このきまりのことを何といいますか。〔 **武家諸法度<sup>ぶけしよはつと</sup>** 〕
- (2) 参勤交代について、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。
- ①〔 × 〕徳川家康が将軍のころ、参勤交代の制度が整えられた。
  - ②〔 ○ 〕幕府は大名の妻と子を入質として、常に江戸のやしきに住まわせた。
  - ③〔 ○ 〕大名は領地と江戸に1年おきに住んだ。



豆知識

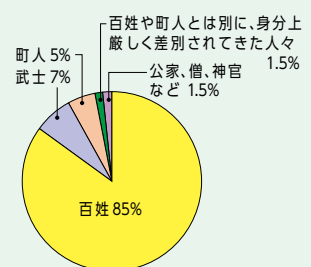
東海道などの五街道が整備され、飛脚<sup>ひきやく</sup>や旅人が行き来するようになりました。



用語解説

身分

江戸時代には武士や百姓<sup>ひやくしやう</sup>、町人などの身分が固定化し、武士を中心とする身分制が定着しました。



▲江戸時代（終わりごろ）の身分ごとの人口の割合  
〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

### 4 江戸時代の百姓の生活

- ①～④の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。
- 百姓は、〔 ① **名主<sup>なぬし</sup>（庄屋<sup>しょうや</sup>）** 〕とよばれる有力者を中心に、自分たちで〔 ② **村<sup>むら</sup>** 〕を運営した。幕府や藩<sup>はん</sup>は〔 ② 〕のまとまりを利用し、〔 ③ **五人組<sup>ごにんぐみ</sup>** 〕というしくみをつくらせて、収穫<sup>しゆかく</sup>の半分にもなる重い〔 ④ **年貢<sup>ねんぐ</sup>（税<sup>ぜい</sup>）** 〕を納めさせたり、いろいろな役（力仕事<sup>ちからしごと</sup>）をさせたりした。こうした中でも百姓は、農具を改良したり肥料をくふうしたりして、農業技術を進歩させた。

### 5 鎖国<sup>さこく</sup>にいたるまでの様子

正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 ○ 〕江戸幕府は、初めは外交をさかんにしようとして、大名や商人に許可状をあたえて外国との貿易を保護した。
- ②〔 × 〕外国の貿易船に乗って日本にきた宣教師<sup>せんきょうし</sup>たちにより、仏教の信者が増え、幕府の命令に逆らうものが出てきた。
- ③〔 ○ 〕島原・天草一揆<sup>しまばら あまくさい</sup>をきっかけに、絵踏<sup>えふ</sup>みを行ってキリスト教信者を見つけ出し、いっそう厳しく取りしまった。
- ④〔 × 〕中国とアメリカに限り、長崎<sup>ながさき</sup>における貿易船の出入りを許可した。
- ⑤〔 ○ 〕出島は長崎の港につくられた人工の島だった。



NHK for School HP  
「江戸時代の農村の暮らし」

## 8 町人の文化と新しい学問

## 1 町人に広がる文化と新しい学問

(1) 人物と関係の深い文や資料を線で結びましょう。

**用語解説**  
**東海道五十三次の宿場町**  
 東海道は江戸時代の京都と江戸を結ぶ道で、53の宿場町がありました。愛知県も通っており、いくつかの宿場町があります。

**JR東海ツアーズHP**  
 「東海道五十三次の宿場町を巡ろう!」

※1 早稲田大学演劇博物館  
 ※2 人形浄瑠璃文楽「管根崎心中」(国立劇場)  
 ※3 早稲田大学図書館  
 ※4 内藤記念くすり博物館

(2) 次の文章を読み、正しいものには○を、まちがっているものには×を [ ] の中に書きましょう。

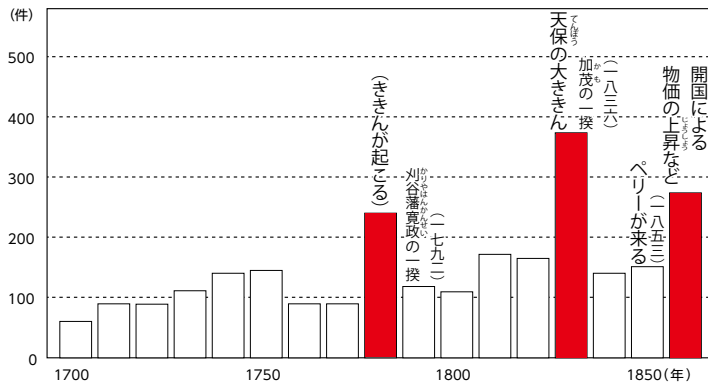
- ① [ × ] 浮世絵は多色刷りで値段が高く、あまり広まらなかった。
- ② [ ○ ] 力をつけた町人や百姓が観光をかねてお寺や神社へお参りの旅に行けるようになった。
- ③ [ × ] 鎖国を続けていた日本は、江戸時代の中ごろになっても洋書の輸入が厳しく禁じられていた。
- ④ [ ○ ] 江戸時代の日本は、寺子屋とよばれる教育機関が町や村にも多くでき、文字が読める人の割合が高い国だった。

**ヒント!**

(2) 平和が続く、社会が安定してくると、武士以外の人々の中にも、文化や学問に親しむ人が現れました。

## 2 人々の暮らしと新しい時代への動き

(1) 百姓一揆が200件以上起きた年のグラフを赤色●でぬりましょう。



(2) 上のグラフから読み取れることがらとして正しいものを2つ選び、  
[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ○ ] ききんが起こったり、物価が上昇したりすると、一揆の件数が増える。
- ② [ ] 一揆の件数が最も多かったのは1860年代である。
- ③ [ ○ ] 一揆が200件以上起きた時期が3回ある。

(3) 百姓一揆や打ちこわしが全国各地で起こるようになると、人々はどう  
ようなことに気づくようになりましたか。「幕府や藩」ということばを  
使って書きましょう。

(例) 幕府や藩に社会の問題を解決する力がなくなっていること。  
など

(4) ①～⑤の [ ] にあてはまることばを下の [ ] の中から選んで書き  
ましょう。



〈大阪城天守閣〉



▲左の人物が起こした反乱の様子  
〈大阪歴史博物館〉

人物名 [ ① おおしおへいはちろう 大塩平八郎 ]

まちの人々を救おうとしない [ ② 役人 ] たちを批判し、 [ ③ 大阪 ]  
で反乱を起こした。そして [ ④ 大商人 ] から米などを取り上げて、  
 [ ⑤ 苦しんでいる人々 ] に分けあたえようとした。

|                  |                     |            |                  |    |
|------------------|---------------------|------------|------------------|----|
| まえのりょうたく<br>前野良沢 | 裕福な人々               | 大商人        | かつしかほくさい<br>葛飾北斎 | 役人 |
| 江戸               | おおしおへいはちろう<br>大塩平八郎 | おおさか<br>大阪 | 苦しんでいる人々         | 農民 |

### 用語解説

#### 百姓一揆

農民の反抗運動。重い年貢  
などが原因で農民の生活が  
苦しくなり、領主や役人、  
地主などを攻撃しました。

### 用語解説

#### 打ちこわし

米の不足や、米の値段上昇  
によって、生活に苦しむ  
人々が、米屋・酒屋などを  
おそいました。

### ヒント!

(3) このころ、大きなききんや物価の上昇によって、  
人々の生活が苦しくなると  
いう社会問題が起きていま  
した。しかし、幕府や藩は、  
これを十分に解決すること  
ができませんでした。

### 愛知の

#### 渡辺華山

三河国田原藩（現在の田原  
市）の藩士で蘭学者。高野  
長英らとともに、幕府の鎖  
国政策を非難したためにと  
らえられ、処罰されました。



公益財団法人華山会HP  
「華山の生涯」



## 9 明治の国づくりを進めた人々

## 1 若い武士たちが幕府をたおす

- (1) ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを下の〔 〕の中から選んで書きましょう。



人物名

〔① ペリー〕

1853年〔② アメリカ合衆国〕の使者・  
〔①〕が4隻の軍艦を率いて〔③ 浦賀〕へ  
来航し、大統領の手紙を幕府にわたして  
〔④ 開国〕を求めた。

1854年〔⑤ 日米和親〕条約を結び国交を  
開いたことで〔⑥ 鎖国〕の状態が終わり、  
1858年にはアメリカとの間に〔⑦ 日米修好通商〕  
条約を結び、外国との貿易が始まった。

イギリス

日米修好通商

鎖国

長崎

ペリー

開国

浦賀

アメリカ合衆国

坂本龍馬

日米和親

- (2) 1854年以降、各国と条約を結んで貿易を始めたことで、日本国内にはどのような変化が起きましたか。「物価」ということばを使って書きましょう。

(例) 日本国内の物価が急に上がって町人や下級武士の生活は苦しくなり、人々の不満が高まった。など

- (3) ①～⑦の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。



人物名〔① 西郷隆盛〕

〔② 薩摩〕藩

- ・長州藩と同盟を結び、倒幕運動で大きな役割を果たした。
- ・明治政府の指導者になったが、後に辞任して薩摩に帰った。



人物名〔③ 大久保利通〕

〔④ 薩摩〕藩

- ・〔①〕とともに倒幕運動の中心となった。
- ・明治政府の指導者として、近代日本の方向を定めた。



人物名〔⑤ 木戸孝允〕

〔⑥ 長州〕藩

- ・倒幕運動の中心となり、明治政府の指導者になった。
- ・五箇条の御誓文を作成したことで有名。

〔①〕〔③〕〔⑤〕たちは新しい政府をつくる運動を始めた。

このような動きにおされた15代将軍の〔⑦ 徳川慶喜〕

は、1867年に政権を朝廷に返し、260年余り続いた江戸幕府は終わりを告げた。

NHK for School HP  
「明治と文明開化」横浜開港資料館HP  
「現場たんけん・ペリーが横浜にやってきた」

愛知の

## ええじゃないか

けいおう 慶応3(1867)年7月、三河のくにあつみぐんむら 豊橋市)で、空から伊勢神宮のお札が降ってきたという話が広がりました。人々は、「ええじゃないか、ええじゃないか」と歌い踊りました。

※1 〈西郷南州顕彰館〉

※2 〈山口県立山口博物館〉

霊山歴史館  
「幕末維新クイズ」に挑戦してみよう!

## 2 明治新政府の改革

(1) 右の資料は1868年に定められた政治の方針です。これを何というのでしょうか。

〔 五箇条の御誓文 〕

- 一 政治のことは、会議を開き、みんなの意見を聞いて決めよう。
- 一 みんなが心を合わせ、国の政策を行おう。
- 一 みんなの志がかなえられるようにしよう。
- 一 これまでのよくないしきたりを改めよう。
- 一 新しい知識を世界に学び、国を栄えさせよう。

(2) これは、誰の名で定められましたか。〔 明治天皇 〕

(3) 明治政府の行った改革について、①～⑤にあてはまることばを下の□の中から選んで書きましょう。

|      |        |                                         |
|------|--------|-----------------------------------------|
| 中央集権 | ① 廃藩置県 | 全国の藩をなくし、新たに県や府を置き、政府が任命した役人に治めさせた。     |
| 教育   | ② 学制   | 6才以上の男女が小学校に通うことが定められた。                 |
| 富国強兵 | ③ 徴兵令  | 20才になった男子に、3年間軍隊に入ること義務づけた。             |
|      | ④ 地租改正 | 国の税を、農民が米で納める年貢から、土地の持ち主が現金で納めるやり方に変えた。 |
|      | ⑤ 殖産興業 | 富岡製糸場をはじめとする、国が運営する官営工場を開いた。            |

殖産興業 文明開化 廃藩置県 地租改正 徴兵令 学制

(4) 明治政府が「富国強兵」を目指した理由を「ヨーロッパの国々」ということばを使って書きましょう。

(例) 工業をさかんにし、強い軍隊をもつことでヨーロッパの国々に追いつくため。など

## 3 新しい世の中と自由民権運動

人物と関係の深いことがらを線で結びましょう。



板垣退助と日本で初めての政党内閣を組織した。

「学問のすゝめ」という本を書いた。

初代内閣総理大臣に任じられた。

政府の指導者だったが、政府を去り、国会開設の要望書を出した。



### 廃藩置県と愛知県

1871年(明治4年)に廃藩置県後、愛知県は12の県に分けられました。その後、名古屋県と額田県になり、1872年(明治5年)に現在の愛知県となりました。愛知県ができてから150年になるのを記念して2022年に「あいち県民の日」ができました。



### 欧米の文化を取り入れる

欧米にわたり、進んだ文化や考え方を学んだ福沢諭吉・津田梅子・渋沢栄一らによって、日本の近代化は大きく進歩しました。福沢諭吉は旧一万円札、津田梅子は五千円札、渋沢栄一は一万円札の肖像画の人物としても知られています。

## 10 世界に歩み出した日本

## 1 条約改正と日清・日露戦争

(1) 日本が江戸時代の終わりに欧米諸国と結んだ不平等条約の内容について、正しいものを2つ選び、[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ○ ] 外国人の罪を、日本の法律でさばくことができない。  
 ② [ ] 安い外国製品の関税を高くすることができる。  
 ③ [ ] 罪をおかした外国人を、日本の法律・裁判所でさばくことができる。  
 ④ [ ○ ] 輸入品にかかる税金を自由に決める権利が認められない。

(2) ①～⑥の[ ]にあてはまることばや人名を書きましょう。

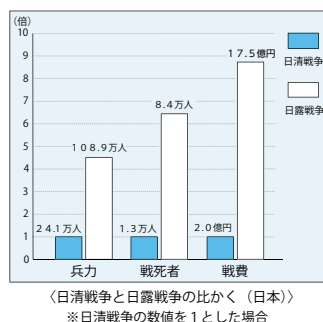
| 時代 | 年    | できごと                           |
|----|------|--------------------------------|
| 江戸 | 1853 | ペリーが浦賀に来る                      |
|    | 1854 | 日米和親条約を結び開国する                  |
|    | 1858 | 日米修好通商条約を結ぶ                    |
| 明治 | 1868 | 五箇条の御誓文が出される                   |
|    | 1883 | 鹿鳴館で舞踏会などが開かれる                 |
|    | 1886 | [ ① ノルマントン号 ] 事件が起きる           |
|    | 1889 | [ ② 大日本帝国憲法 ] を発布する            |
|    | 1894 | [ 人名③ 陸奥宗光 ] がイギリスとの条約の一部を改正する |
|    | 1904 | [ ④ 日清戦争 ] が始まる(～95)           |
|    | 1911 | [ ⑤ 日露戦争 ] が始まる(～05)           |
|    |      | [ 人名⑥ 小村寿太郎 ] が条約改正を達成する       |

(3) ③、⑥の人物が改正に成功した不平等条約の内容をそれぞれ書きましょう。

- ③の人物 [ 領事裁判権 ] をなくす。  
 ⑥の人物 [ 関税自主権 ] の回復。

(4) 右のグラフを見て、正しいものを2つ選び、[ ]の中に○を書きましょう。

- ① [ ] 日清戦争の戦費は、日露戦争の8倍以上かかった。  
 ② [ ○ ] 日露戦争の戦死者は、日清戦争より多かった。  
 ③ [ ○ ] 日露戦争の兵力は、日清戦争の4倍以上となった。



NHK for School HP  
「治外法権の撤廃」



## 用語解説

ろくめいかん  
鹿鳴館

東京都日比谷につくられた建物。西洋の人をまねいて、ダンスパーティーなどを行い、日本の近代化を示し、条約改正の交渉を有利に進めようとした。



## ヒント!

(3) 不平等条約の内容は、日本の国際的な地位の向上と共に段階的に改正されました。

愛知の●●●  
ぐんととよはし  
軍都だった豊橋

強い軍隊をつくるという明治政府のもとで、豊橋市に陸軍の兵舎や演習場ができました。ここから軍隊が日清戦争や日露戦争へ出動しました。



## 2 世界へ進出する日本

(1) 人物名と写真や関係の深い文を線で結びましょう。

|                  |                                                                                   |                                                     |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| のぐちひでよ<br>野口英世   |  | 戦場にいる弟を思う詩を<br>発表し、戦争に反対する<br>気持ちを表した。              |
| にとべいなぞう<br>新渡戸稲造 |  | 国際連盟の事務局次長を<br>務め、日本と外国との間<br>で理解を深めることに力<br>をつくした。 |
| ひぐちいちよう<br>樋口一葉  |  | へび毒の研究で注目され、<br>アフリカで黄熱病を調査<br>研究した。                |
| よさのあきこ<br>与謝野晶子  |  | 社会の変化の中でなやみ<br>苦しむ人々のすがたを小<br>説に表現した。               |

※1

(2) 条約改正や医学の発展を通して、世界における日本の地位はどうなりましたか。

- 例・日本の国際的地位が向上した。  
・欧米諸国と対等な立場になった。など

## 3 生活や社会の変化

5枚の写真を参考にして、①～⑤の〔 〕にあてはまることばを書きましょう。



1925年に〔① ラジオ〕放送が始まった。電車やバスなどの〔② 交通〕も整備され、都市部を中心に〔③ 近代〕的な生活をもたらした。



平塚らいてうや市川房枝らは、新婦人協会を設立し、〔④ 女性〕の権利を守ることをうったえた。就職や結婚などで差別されてきた人々は〔⑤ 全国水平社〕をつくり、差別をなくす運動をした。

### 用語解説

きたさとしばさぶろう  
北里柴三郎

破傷風という病気の治療のしかたを発見しました。また、伝染病の研究所を設立し、野口英世などの若い医師を育てました。千円札の肖像画の人物としても知られています。

※1 〈台東区立一葉記念館〉

### 愛知の

おぶちし  
小淵志ち

1880年代、製糸業と紡績業がさかんになりました。1847年群馬県に生まれた小淵志ちは、1885年に豊橋市に製糸工場をつくります。そこで玉繭から糸を紡ぐ方法を開発し、東三河の製糸業の発展に大きな功績をあげました。

### ヒント!

(2) このころの日本は、医学などの分野で国際的に認められるようになってきました。



パナソニックキッズスクールHP  
「タイムスリップ大作戦」



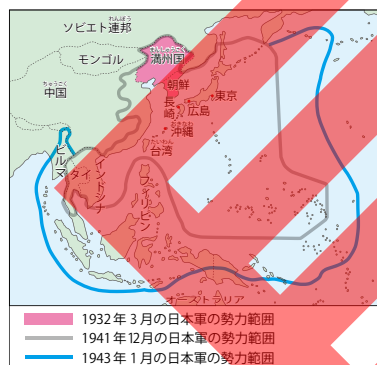
## 11 長く続いた戦争と人々の暮らし / 12 新しい日本, 平和な日本へ

## 1 戦争が世界に広がる

(1) ①～⑦にあてはまることばを下の□の中から選んで書きましょう。

| 年    | できごと                                                                   |
|------|------------------------------------------------------------------------|
| 1931 | 満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し〔① 満州事変〕が起こる                                           |
| 1933 | 日本が国際連盟を脱退する                                                           |
| 1937 | 〔② 日中戦争〕が始まる                                                           |
| 1939 | ドイツとイギリスやフランスが戦争になり、〔③ 第二次世界大戦〕が始まる                                    |
| 1941 | 日本がハワイ真珠湾を攻撃し、〔④ 太平洋戦争〕が始まる                                            |
| 1945 | 8月6日〔⑤ 広島〕に、8月9日〔⑥ 長崎〕に、アメリカ軍によって原子爆弾が落とされる<br>8月15日に日本は〔⑦ 降伏〕し、戦争が終わる |

|    |         |        |      |      |    |       |
|----|---------|--------|------|------|----|-------|
| 長崎 | 満州事変    | 名古屋    | 日中戦争 | 日露戦争 | 勝利 | 太平洋戦争 |
| 東京 | 第二次世界大戦 | ナンキン事件 | 朝鮮戦争 | 広島   | 降伏 |       |



▲日本の勢力範囲

|                                        |         |
|----------------------------------------|---------|
| ●中国                                    | 約1000万人 |
| ●朝鮮                                    | 約20万人   |
| ●東南アジア<br>(ベトナム, フィリピン, インドネシア, インドなど) | 約890万人  |
| ●日本<br>(軍人)                            | 約310万人  |
| (民間人)                                  | 約230万人  |
|                                        | 約80万人   |

▲第二次世界大戦でなくなったアジアの人々(推定)

(2) 上の資料を見て、正しいものには○を、まちがっているものには×を〔 〕の中に書きましょう。

- ①〔 ○ 〕日本軍の勢力が最も広がったのは1943年である。  
 ②〔 × 〕戦争による推定死者数は、日本が最も多い。  
 ③〔 × 〕日本軍の勢力は中国全土に広がった。  
 ④〔 ○ 〕中国の推定死者数は日本の3倍以上である。

(3) 日本が東南アジア方面にまで勢力を広げた理由を書きましょう。

(例) 石油などの資源を得るため。など

## 用語解説

## 国際連盟

1920年(大正9年)に世界の平和と国際協力を目的としてつくられました。

1933年, 日本は満州への侵略について各国から非難を受け, 国際連盟を脱退しました。



## 愛知の

## 豊川海軍工廠

海軍が戦争で使う機銃や弾丸を作るために, 豊川市に大きな工場がつけられました。たくさんの人が働いていましたが, 広島に原爆が落とされた次の日, 豊川海軍工廠も爆撃され, 2500人以上が亡くなりました。その多くが10～20代の若者でした。

豊川市HP  
「豊川海軍工廠」

## 豆知識

## 世界恐慌

世界中が不景気になり, 会社や工場がつぶれて生活に苦しむ人々が多くなりました。このままでは日本がほろびると主張する人々もいました。

## 2 民主主義による国を目指して

(1) 敗戦後の日本について、正しいものを2つ選び、〔 〕の中に○を書きましょう。

- ①〔 〕ドイツなどの連合軍に占領された。  
 ②〔 ○ 〕民主主義国家としての再出発を目指した。  
 ③〔 〕戦争が終わり、食べ物に不自由することが無くなった。  
 ④〔 ○ 〕戦後改革とよばれる多くの改革を行った。

(2) ①～⑩にあてはまることばを下の〔 〕の中から選んで書きましょう。

|      |           |      |                                   |
|------|-----------|------|-----------------------------------|
| 選挙制度 | 満25才以上の男子 | 戦後改革 | 満〔① 20〕才以上の〔② 男女〕の参政权が認められる       |
| 農地   | 大地主と小作農家  |      | 小作農家も自分の〔③ 農地〕がもてる                |
| 学校教育 | 小学校6年間    |      | 〔④ 小〕学校6年<br>〔⑤ 中〕学校3年 } 9年間の男女共学 |

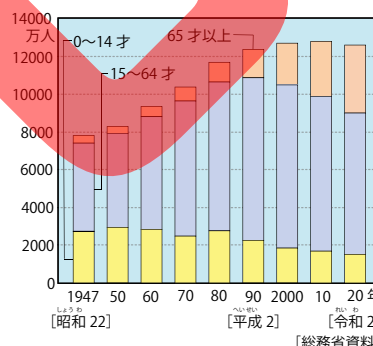
| 年    | できごと                          |
|------|-------------------------------|
| 1946 | 〔⑥ 日本国〕憲法が公布される               |
| 1956 | 日本が〔⑦ 国際連合〕への加盟を認められる         |
| 1964 | 東京〔⑧ オリンピック〕・〔⑨ パラリンピック〕が開かれる |
| 1970 | 日本万国博覧会が開かれる                  |
| 1972 | アメリカに統治されていた〔⑩ 沖縄〕が日本に復帰する    |

|      |       |        |    |    |         |     |    |
|------|-------|--------|----|----|---------|-----|----|
| 国際連合 | 大日本帝国 | 20     | 25 | 30 | 男性      | 女性  | 男女 |
| 農地   | 小     | オリンピック | 沖縄 | 中  | パラリンピック | 日本国 |    |

## 3 これからの日本を考えよう

(1) 右の資料を見て、正しいものに○を、まちがっているものに×を〔 〕の中にかきましょう。

- ①〔 ○ 〕0～14才の割合は1980年～2020年の間で減っている。  
 ②〔 × 〕人口が一番多いのは1980年である。  
 ③〔 ○ 〕40年ほど前から65才以上の割合は増え続けている。



▲少子高齢化と人口の移り変わり  
 〈東京書籍：新しい社会6年 歴史編(R6)〉

(2) これから日本はどのような国を目指していったらよいのでしょうか。学んだことをもとにあなたの考えを書きましょう。

例・少子高齢化に対応した社会保障のある国

・差別や偏見のない国 ・災害に強く、助け合える国 など

### 用語解説

#### 国際連合

第二次世界大戦の反省のもとに設立され、多くの国々が協力し合って、国際的な問題解決をする場となりました。国連加盟後、日本もさまざまな活動に協力し、世界の国々からその活やくが認められています。

### 用語解説

#### 大地主と小作農家

小作農家は、自分の土地を持たず、大地主から土地を借りて農業をしていました。収穫したものから小作料を払い、残りのお金で生活していました。

### 愛知の愛知県と伊勢湾台風

1959年(昭和34年)に全国的な被害をおよぼした台風。愛知県は特に高潮によって3200名以上の死者・行方不明者を出すなど、大きな被害を受けました。



内閣府HP  
 「みんなで減災」

### ヒント!

(2) 日本の文化や技術は世界で認められ、世界にこうけんしています。しかし、解決しなければならない問題もたくさんあります。どのような問題を解決し、どのような社会を目指していけばよいのでしょうか。

# 〔日本の歴史年表〕

○は社会についてのできごと、●は文化についてのできごと、  
青文字はこの地方のできごとを表しています。

| 時代        |        | 主なできごと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本の国の成り立ち | 縄文時代   | 1万年<br>前<br>○かりや漁をしにくらす<br>●土器がつくられ始める<br><br>●縄文土器が使われる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | どのようなことをしたのか説明できる歴史人物に、赤色でしるしをつけましょう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|           | 弥生時代   | 2300<br>年前<br>●弥生土器が使われる<br>●米づくりと金属器が大陸から伝わる<br>石器、骨角器などを使う(古胡貝塚など・現在の田原市)<br>稲作がこの地方でも始まる(瓜郷遺跡など・現在の豊橋市)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|           | 古墳時代   | 57<br>倭奴国王が中国に使いを送る<br><br>239<br>邪馬台国の女王卑弥呼が中国に使者を送る<br><br>●各地に古墳がつくられる<br>大和朝廷が国土の統一を進める<br>大仙古墳ができる<br>●漢字や織物の技術が中国から伝わる<br>●大陸文化が広がる<br><br>●仏教が伝わる<br>○蘇我氏の勢いが強くなる<br>聖徳太子が摂政となる<br>正法寺古墳がつくられる(現在の西尾市)<br>馬越長火家古墳がつくられる(現在の豊橋市)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|           | 奈良時代   | 604<br>十七条の憲法を定める<br>607<br>小野妹子を遣隋使として隋に送る<br>607<br>●法隆寺が建てられる<br>630<br>遣唐使がはじまる<br>645<br>大化の改新がはじまる<br><br>710<br>奈良(平城京)に都を移す<br>●古事記ができる<br>720<br>●日本書紀ができる<br>752<br>●東大寺の大仏ができる<br>754<br>●唐の僧鑑真が日本に来る<br>794<br>京都(平安京)に都を移す<br>北野廃寺が建てられる(現在の岡崎市)<br>ワタの種が伝えられる(現在の西尾市)(799)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 貴族の世の中    | 平安時代   | 866<br>藤原氏が初めて摂政になる<br>894<br>遣唐使を廃止する<br>901<br>菅原道真が九州へ追放される<br>●かな文字は広まり、日本風の文化が育つ<br>○荘園がふえ、地方の反乱が相次ぐ<br>○『枕草子』や『源氏物語』ができる<br>1016<br>藤原道長が摂政になる<br>○藤原氏ははなやかなくらしをする<br>○武士が力をもち始める<br>●平等院鳳凰堂ができる<br>1053<br>院政が始まる<br><br>1167<br>平清盛が太政大臣になる<br>1185<br>平氏がほろびる<br>1192<br>源頼朝が征夷大将軍となる<br><br>1221<br>承久の乱が起こる<br>●新しい仏教が広まる<br>1268<br>北条時宗が執権になる<br>1274<br>元が攻めてくる(文永の役…1274、弘安の役…1281)<br><br>1333<br>鎌倉幕府がほろびる<br>1338<br>足利尊氏が幕府を開く<br>○南朝と北朝の対立が続く<br>1397<br>●足利義満が金閣をたてる<br>1404<br>明との貿易をはじめめる<br>○農民の団結が強くなる<br>●民衆の文化が発展する<br>1467<br>応仁の乱が起こる(～1477)<br>○以後100年ほど国がみだれる<br>1489<br>●足利義政が銀閣をたてる<br><br>1543<br>●ポルトガル人が鉄砲を伝える<br>1549<br>●ザビエルがキリスト教を伝える<br>1573<br>織田信長が室町幕府をほろぼす<br>1575<br>長篠・設楽原の戦いがおこる<br>1585<br>豊臣秀吉が関白になる<br>1600<br>関ヶ原の戦いがおこる<br>1603<br>徳川家康が江戸幕府を開く<br>1612<br>幕府がキリスト教を禁止する<br>1615<br>豊臣家がほろびる<br>1615<br>武家諸法度が定められる<br>1635<br>徳川家光が参勤交代を制度化する<br>1637<br>島原・天草一揆がおこる<br>1639<br>鎖国が完成する<br><br>●大阪を中心に町人文化が栄える<br><br>●蘭学や国学がさかになる<br>●江戸を中心に町人文化が栄える<br>●寺小屋が広まる<br>1833<br>天保の大きなきんがおこる(～1839)<br>○農民の一揆や打ちこわしが多くなる | 卑弥呼(2世紀末～3世紀前期)<br><br>聖徳太子(574～622)<br>小野妹子(6世紀末～7世紀前期)<br><br>中臣鎌足(614～669)<br>中大兄皇子(626～671)<br><br>行基(668～749)<br>鑑真(688～763)<br>聖武天皇(701～756)<br><br>清少納言(10世紀後期～11世紀前期)<br>紫式部(10世紀後期～11世紀前期)<br>藤原道長(966～1027)<br><br>平清盛(1118～1181)<br>源頼朝(1147～1199)<br>源義経(1159～1189)<br><br>足利義氏、三河の国の守護になる(1221)<br><br>北条時宗(1251～1284)<br><br>足利一門の三河武士、尊氏を助けて戦う(1333)<br><br>足利義満(1358～1408)<br><br>雪舟(1420～1506)<br>足利義政(1436～1490)<br><br>ザビエル(1506～1552)<br>織田信長(1534～1582)<br>豊臣秀吉(1537～1598)<br>徳川家康(1542～1616)<br><br>徳川家光(1604～1651)<br><br>近松門左衛門(1653～1724)<br><br>本居宣長(1730～1801)<br>杉田玄白(1733～1817)<br>伊能忠敬(1745～1818)<br><br>ペリー(1794～1858)<br>歌川広重(1797～1858) |
| 武士の世の中    | 鎌倉時代   | 1221<br>承久の乱が起こる<br>●新しい仏教が広まる<br>1268<br>北条時宗が執権になる<br>1274<br>元が攻めてくる(文永の役…1274、弘安の役…1281)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 鎌倉幕府がほろびる<br>足利尊氏が幕府を開く<br>○南朝と北朝の対立が続く<br>●足利義満が金閣をたてる<br>明との貿易をはじめめる<br>○農民の団結が強くなる<br>●民衆の文化が発展する<br>応仁の乱が起こる(～1477)<br>○以後100年ほど国がみだれる<br>●足利義政が銀閣をたてる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|           | 室町時代   | 1333<br>鎌倉幕府がほろびる<br>1338<br>足利尊氏が幕府を開く<br>○南朝と北朝の対立が続く<br>1397<br>●足利義満が金閣をたてる<br>1404<br>明との貿易をはじめめる<br>○農民の団結が強くなる<br>●民衆の文化が発展する<br>1467<br>応仁の乱が起こる(～1477)<br>○以後100年ほど国がみだれる<br>1489<br>●足利義政が銀閣をたてる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 安土桃山時代    | 安土桃山時代 | 1543<br>●ポルトガル人が鉄砲を伝える<br>1549<br>●ザビエルがキリスト教を伝える<br>1573<br>織田信長が室町幕府をほろぼす<br>1575<br>長篠・設楽原の戦いがおこる<br>1585<br>豊臣秀吉が関白になる<br>1600<br>関ヶ原の戦いがおこる<br>1603<br>徳川家康が江戸幕府を開く<br>1612<br>幕府がキリスト教を禁止する<br>1615<br>豊臣家がほろびる<br>1615<br>武家諸法度が定められる<br>1635<br>徳川家光が参勤交代を制度化する<br>1637<br>島原・天草一揆がおこる<br>1639<br>鎖国が完成する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 徳川家光(1604～1651)<br><br>近松門左衛門(1653～1724)<br><br>本居宣長(1730～1801)<br>杉田玄白(1733～1817)<br>伊能忠敬(1745～1818)<br><br>ペリー(1794～1858)<br>歌川広重(1797～1858)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|           | 江戸時代   | 1635<br>徳川家光が参勤交代を制度化する<br>1637<br>島原・天草一揆がおこる<br>1639<br>鎖国が完成する<br><br>●大阪を中心に町人文化が栄える<br><br>●蘭学や国学がさかになる<br>●江戸を中心に町人文化が栄える<br>●寺小屋が広まる<br>1833<br>天保の大きなきんがおこる(～1839)<br>○農民の一揆や打ちこわしが多くなる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |



|         |      |      |                                     |                                        |                  |
|---------|------|------|-------------------------------------|----------------------------------------|------------------|
| 武士の世の中  | 江戸時代 | 1837 | 大塩平八郎の乱がおこる                         | 渡辺華山(田原藩)が、西洋の学問を研究し幕府をひはん             | 勝海舟(1823～1899)   |
|         |      | 1853 | ペリーが浦賀(現在の神奈川県)に来る                  | したという理由でとらえられる(1837)                   |                  |
|         |      | 1854 | 日米和親条約を結び開国する                       |                                        | 西郷隆盛(1827～1877)  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1858 | 各国と修好通商条約を結ぶ                        |                                        | 大久保利通(1830～1878) |
|         |      | 1866 | 薩摩と長州が連合する                          | 徳川慶喜が第二次長州征伐を行い、岡崎に立ちよる(1866)          | 木戸孝允(1833～1877)  |
|         |      | 1867 | 15代将軍慶喜が政権を朝廷に返す(大政奉還)              |                                        | 明治天皇(1852～1912)  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1868 | 明治維新 江戸を東京とする                       | 宮島騒動がおこる(現在の愛知県)(1867)                 | 福沢諭吉(1834～1901)  |
|         |      | 1868 | 五箇条の御誓文が出される                        | 豊田騒動がおこる(現在の新城市)(1870)                 | 板垣退助(1837～1919)  |
|         |      | 1871 | 廃藩置県がおこなわれる                         |                                        | 大隈重信(1838～1922)  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1871 | 岩倉使節団が欧米諸国を視察する                     |                                        |                  |
|         |      | 1872 | ●学校の制度ができる                          | 愛知県ができる(1872)                          | 伊藤博文(1841～1909)  |
|         |      | 1873 | 徴兵令が出される 地租改正が行われる                  |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1877 | 西南戦争がおこる                            | 宮島清蔵がガラ紡を始める(1877)                     | 陸奥宗光(1844～1897)  |
|         |      |      | ○自由民権運動がさかんになる                      | 明治用水ができる(1880)                         | 東郷平八郎(1847～1934) |
|         |      |      | ○官営紡績工場ができる                         |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1885 | 伊藤博文が最初の内閣総理大臣となる                   | 佐々島(名古屋)駅ができる(1885)                    | 小村寿太郎(1855～1911) |
|         |      | 1889 | 大日本帝国憲法が公布される                       |                                        |                  |
|         |      | 1890 | 第1回帝国議会が開かれる                        |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 |      | ○軽工業が発達する                           |                                        |                  |
|         |      | 1894 | 領事裁判権の廃止に成功                         |                                        |                  |
|         |      | 1894 | 日清戦争がおこる(～1895)                     | 豊田佐吉が動力織機を発明する(1897)                   | 野口英世(1876～1928)  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1904 | 日露戦争がおこる(～1905)                     |                                        |                  |
|         |      |      | ○重工業が発達しはじめる                        | 豊橋市ができる(1906)                          |                  |
|         |      | 1910 | 韓国を併合する                             |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1911 | 条約改正を達成する                           |                                        |                  |
|         |      | 1914 | 第一次世界大戦がおこる(～1918)                  |                                        |                  |
|         |      | 1918 | 「米騒動」がおこる                           | 岡崎市ができる(1916)                          |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1918 | 政党内閣ができる                            |                                        |                  |
|         |      |      | ○社会運動が高まる                           |                                        |                  |
|         |      | 1920 | 国際連盟に加盟する                           |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1922 | 全国水平社の創立大会が開かれる                     |                                        |                  |
|         |      | 1923 | 関東大震災がおこる                           |                                        |                  |
|         |      | 1925 | 普通選挙法と治安維持法が定められる                   | 名古屋放送局、ラジオ放送開始(1925)                   |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 |      | ○世の中が不景気になり、失業者がふえる                 | 愛知電鉄(名古屋鉄道の前身)<br>「神宮前-古田」間が開通する(1927) |                  |
|         |      | 1931 | 満州事変がおこる                            |                                        |                  |
|         |      |      | ○軍人の力が強くなる                          |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1933 | 国際連盟を脱退する                           | 豊田自動織機製作所で自動車の商品化に着手する(1933)           |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1937 | 日中戦争がおこる(～1945)                     |                                        |                  |
|         |      | 1939 | 第二次世界大戦がおこる(～1945)                  | 愛知県初の満州移民(1939)                        |                  |
|         |      |      | ○言論や思想の取りしまりがきびしくなる                 |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1941 | 太平洋戦争が始まる(～1945)                    | 豊川市ができる(1943)                          |                  |
|         |      | 1945 | 広島・長崎に原子爆弾が落とされる                    | 三河地方に大地震がおこる(1945)                     |                  |
|         |      | 1945 | ポツダム宣言を受け入れる(降伏する)                  | 豊橋市、岡崎市などが空しゅうを受ける(1945)               |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1945 | 女性の参政権が認められる                        |                                        |                  |
|         |      |      | ○日本の民主化が進む                          |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1946 | 日本国憲法が公布される                         | 戦後初の国勢調査、愛知県の人口は約310万人(1947)           |                  |
|         |      | 1947 | ●6・3制の義務教育が始まる                      | 碧南市ができる(1948)                          |                  |
|         |      | 1949 | ●湯川秀樹がノーベル賞を受賞する                    | 刈谷市ができる(1950)                          |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1950 | 朝鮮戦争がおこる(～1953)                     | 挙母(こほも)市ができる(1951)                     |                  |
|         |      | 1951 | サンフランシスコ平和条約を結ぶ                     | 日本初の民間ラジオ放送が名古屋で始まる(1951)              |                  |
|         |      | 1951 | 日米安全保障条約を結ぶ                         | 安城市ができる(1952)                          |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1952 | 日本が独立を回復する                          | 西尾市ができる(1953)                          |                  |
|         |      |      |                                     | 名古屋でテレビ放送が開始される(1954)                  |                  |
|         |      |      |                                     | 蒲郡市ができる(1954)                          |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 |      |                                     | 新城市ができる(1958)                          |                  |
|         |      |      |                                     | 挙母市が豊田市と名前を変える(1959)                   |                  |
|         |      |      |                                     | 伊勢湾台風で5,000人以上の人が死ぬ(1959)              |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 |      |                                     | 愛知用水ができる(1961)                         |                  |
|         |      | 1956 | 国際連合に加盟する                           |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1964 | 東海道新幹線が開通する                         |                                        |                  |
|         |      | 1964 | オリンピック・パラリンピック東京大会が開かれる             |                                        |                  |
|         |      | 1965 | 大韓民国と国交を回復する                        | 豊川用水ができる(1968)                         |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 |      | ○公害が社会問題になる                         | 東名高速道路が開通する(1969)                      |                  |
|         |      | 1970 | ●大阪万国博覧会が開かれる                       | 知立市・高浜市ができる(1970)                      |                  |
|         |      | 1972 | 冬季オリンピック札幌大会が開かれる                   |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1972 | 沖縄が日本に復帰する                          |                                        |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1978 | 日中平和友好条約を結ぶ                         |                                        |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1985 | 男女雇用機会均等法が公布される                     |                                        |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1993 | ●法隆寺や姫路城が世界文化遺産になる                  |                                        |                  |
|         |      | 1994 | 日本が子どもの権利条約を承認する                    |                                        |                  |
|         |      | 1995 | 阪神・淡路大震災がおこる                        |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 1998 | 「地球温暖化防止会議」が京都で開かれる                 |                                        |                  |
|         |      | 1998 | 冬季オリンピック・パラリンピック長野大会が開かれる           |                                        |                  |
|         |      | 2000 | 九州・沖縄サミットが開かれる                      |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 2002 | サッカーのワールドカップが日本と韓国で開かれる             | 平成の大合併が行われる(2003～2010)                 |                  |
|         |      |      |                                     | 田原市ができる(2003)                          |                  |
|         |      | 2004 | イラクの復興支援に自衛隊が派遣される                  | 愛知で万国博覧会が開かれる(2005)                    |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 2005 | ●愛知で万国博覧会が開かれる                      |                                        |                  |
|         |      | 2008 | 野生復帰を目指して、トキが放鳥される                  | みよし市ができる(2010)                         |                  |
|         |      |      |                                     | 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開かれる(2010) |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 2011 | 東日本大震災がおこる                          | 新東名高速道路(愛知県区間)ができる(2016)               |                  |
|         |      |      |                                     | 先進国首脳会議が三重県で開かれる(2016)                 |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
| 明治からの中世 | 明治時代 | 2019 | 天皇が退位し、元号が「令和」にかわる                  |                                        |                  |
|         |      | 2020 | 新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的流行・緊急事態宣言の発令 |                                        |                  |
|         |      | 2021 | オリンピック・パラリンピック東京大会が開かれる             | 県政150周年記念「あいち県民の日」ができる(2022)           |                  |
| 明治からの中世 | 令和時代 |      |                                     |                                        |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |
|         |      |      |                                     |                                        |                  |

| 《日本にある世界遺産》                 |         |      |
|-----------------------------|---------|------|
| 白神山地                        | (1993年) | 自然遺産 |
| 姫路城                         | (1993年) | 文化遺産 |
| 法隆寺地域の仏像建造物                 | (1993年) | 文化遺産 |
| 屋久島                         | (1993年) | 自然遺産 |
| 古都京都の文化財                    | (1994年) | 文化遺産 |
| 白川郷・五箇山の合掌造り集落              | (1995年) | 文化遺産 |
| 厳島神社                        | (1996年) | 文化遺産 |
| 原爆ドーム                       | (1996年) | 文化遺産 |
| 古都奈良の文化財                    | (1998年) | 文化遺産 |
| 日光の社寺                       | (1999年) | 文化遺産 |
| 琉球王国のグスク及び関連遺産群             | (2000年) | 文化遺産 |
| 紀伊山地の霊場と参詣道                 | (2004年) | 文化遺産 |
| 知床                          | (2005年) | 自然遺産 |
| 石見銀山遺跡と文化的景観                | (2007年) | 文化遺産 |
| 小笠原諸島                       | (2011年) | 自然遺産 |
| 平泉－仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺産群 | (2011年) | 文化遺産 |
| 富士山－信仰の対象と芸術の源泉             | (2013年) | 文化遺産 |
| 富岡製糸場と絹産業遺産群                | (2014年) | 文化遺産 |
| 明治日本産業革命遺産                  |         |      |
| 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業               | (2015年) | 文化遺産 |
| ル・コルビジエの建築作品                | (2016年) | 文化遺産 |
| －近代建築への顕著な貢献－               |         |      |
| 「神宿る島」宗像・沖ノ島との関連遺産群         | (2017年) | 文化遺産 |
| 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産         | (2018年) | 文化遺産 |
| 百舌鳥・古市古墳群                   | (2019年) | 文化遺産 |
| 奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島         | (2021年) | 自然遺産 |
| 北海道・北東北の縄文遺跡群               | (2021年) | 文化遺産 |
| 佐渡島の金山                      | (2024年) | 文化遺産 |



令和7年度版 社会の友 6年

編集：「社会の友」編集委員会  
三河教育研究会

刊行：公益財団法人 愛知教育文化振興会  
〒444-0868 岡崎市明大寺町馬場東170番地1  
電話 (0564) 51-4819

印刷：あいち印刷株式会社

6年 組 番

名前